

淫落遊戲

淫

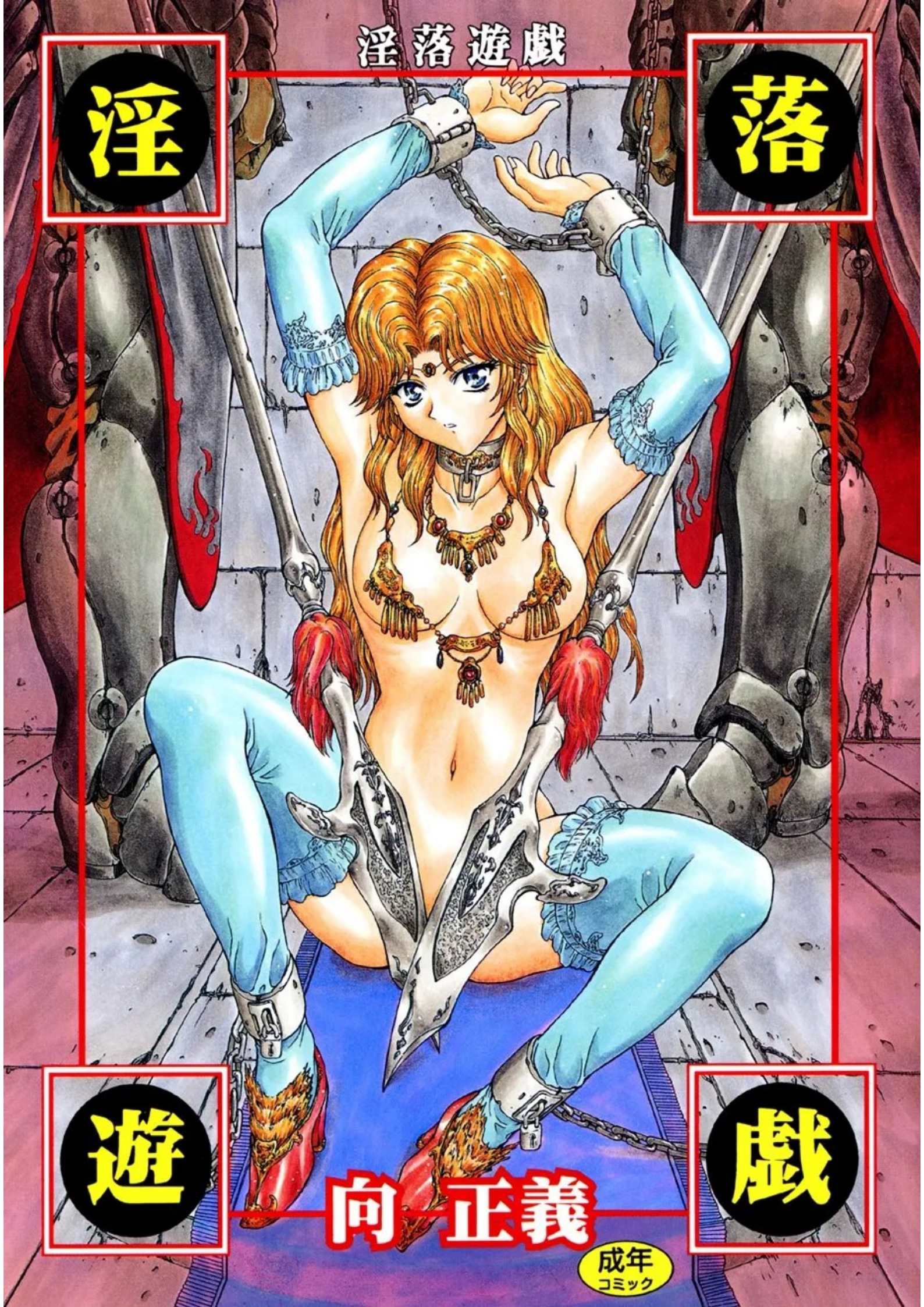
落

遊

戲

向正義

成年
コミック



淫落遊戲

向

正義



愛という名の…〔前編〕



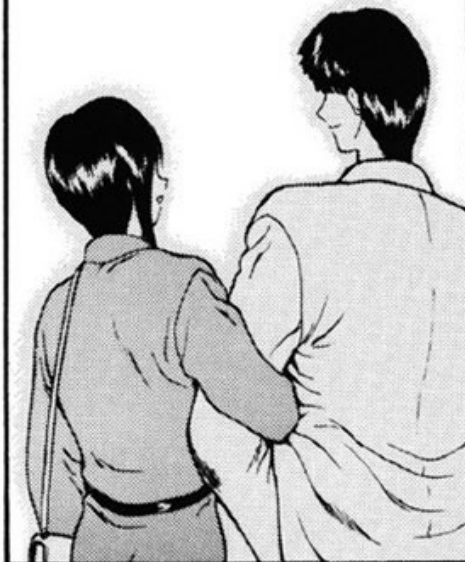
あら…だって
昔はよく遊んで
もらってたじゃない

子供の頃の話でしょ!!
それに家が
隣同士だったから……

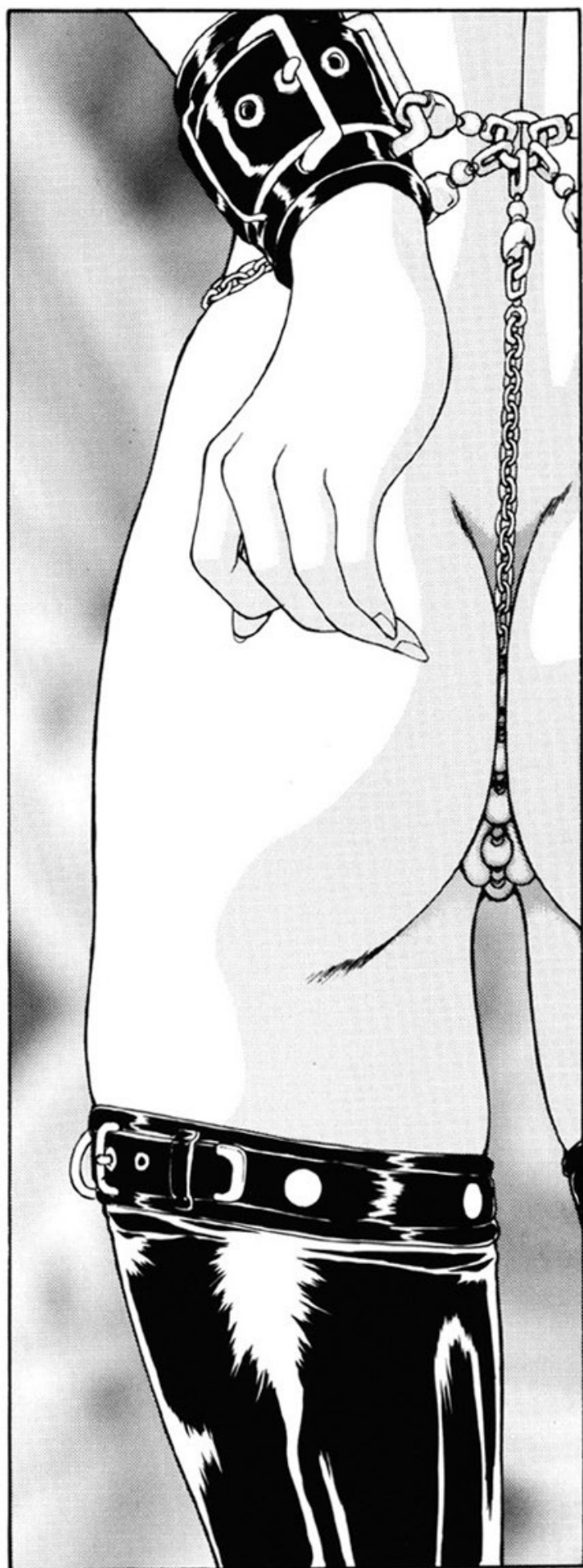
あまたせ

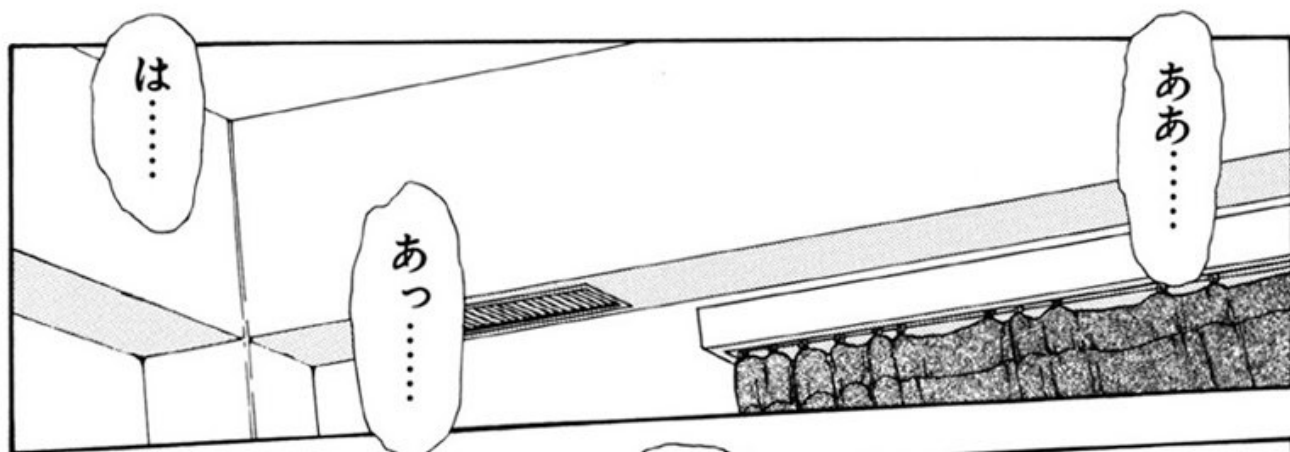
私は別に……

賢也さんのことなんて
なんとも思っていないよ——



愛という名の…〔前編〕





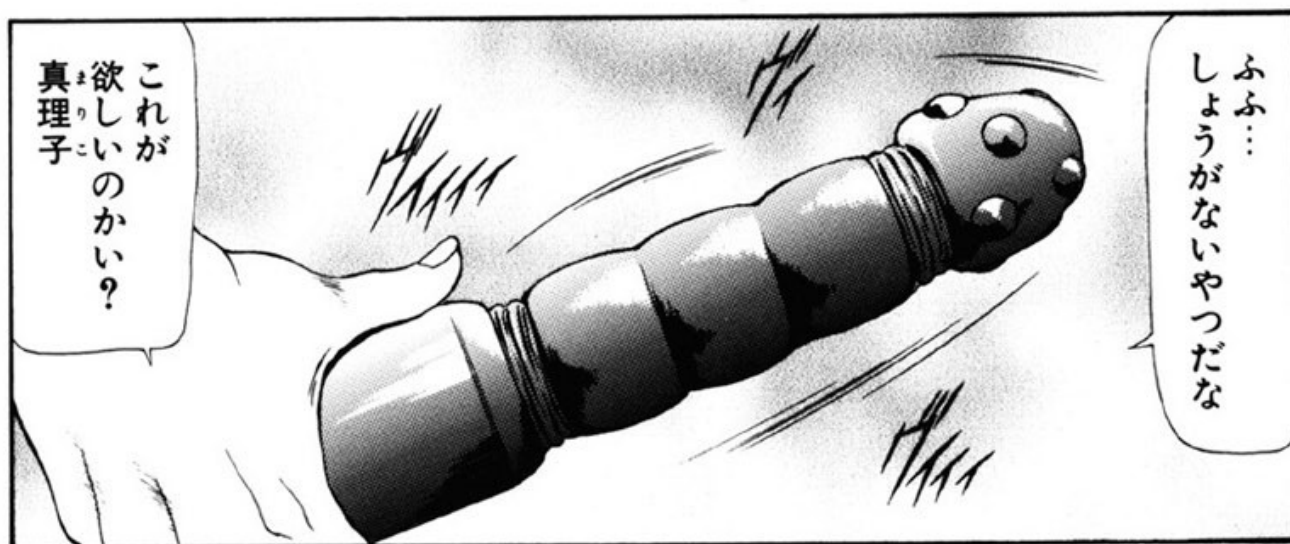


ご…
御主人様あ…

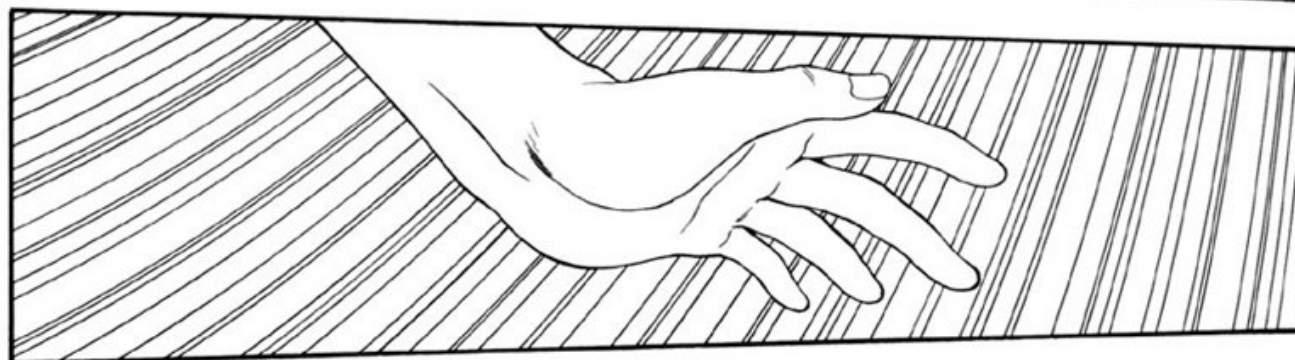
も…
もう…
許して
下さあ…い…

だめだよ

まだ一時間も
経ってない
じゃないか



愛という名の…〔前編〕





まったく
何度言わせれば
気が済むんだ……



ひよっとして
お仕置きされたくて
わざとやってるんじや
ないだろうね？



そ…そんなあ…
違いますう…
ゆ…許して
下さあ…い……



そうか…
それじゃもう一回
言い直すんだ
今度は
教えられた
とおりね
は…はい……

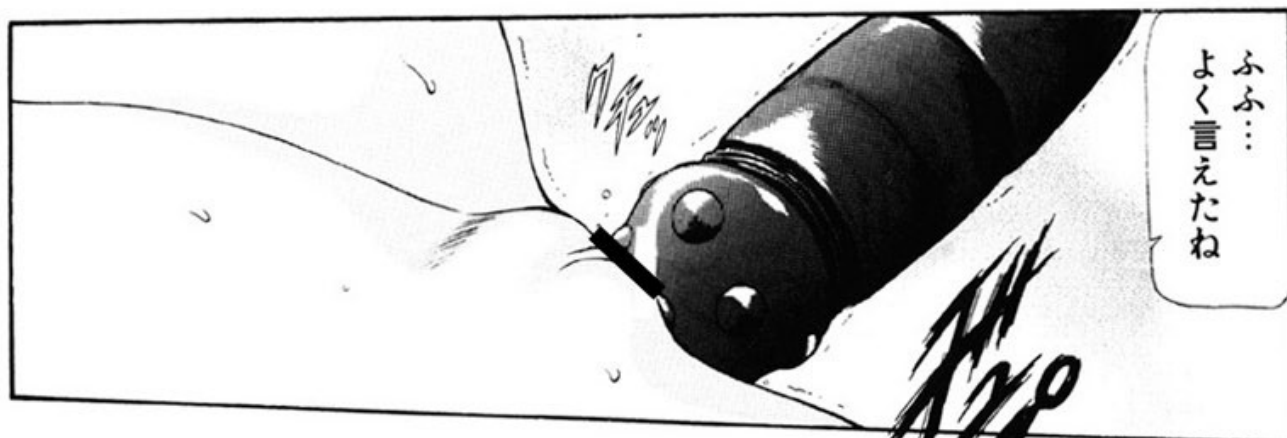


ふあ…あ…

真理子…
それが主人に対する
口の利き方かい？

愛という名の…〔前編〕





ふふ…
よく言えたね



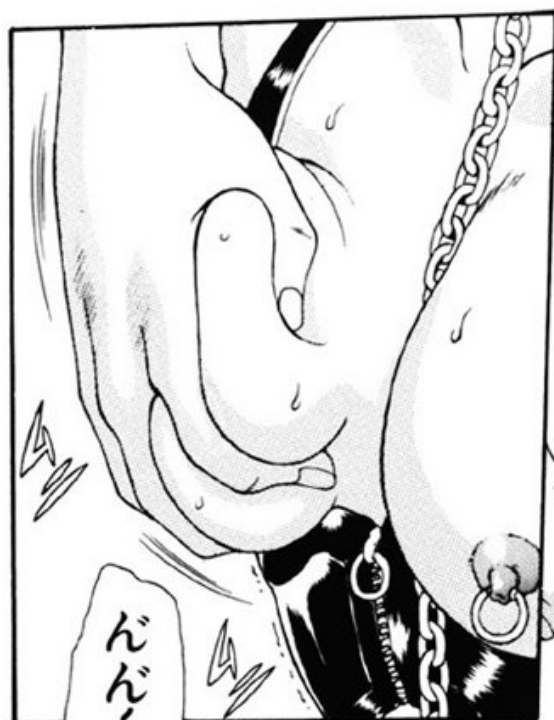
本当に淫乱だね
真理子は……

なんだ…
入れただけで
イクなんて……



はあ…あ……

あつ…ふ……





愛という名の…〔前編〕



ご…
御主人様あ
…………

わ…私…また…
イっちゃいますっ

あっ…ふっ

はあっ

はああああああ



これが一番
最近のやつ
なんだけど……

ま…
こんなところ
かな



どうしたの？
黙りこんじゃって
……………

……………今さら
後戻りする気は
ありません

そう…
よかった

まさか
怖くなったからやめる
なんてことは……………

何しろこれは
裕ちゃんの方から
言ってきたこと
だもんね

でも…
これだけは
おぼえなくてよ

一応今
俺と真理子は
恋人同士なんだ

そして君は
その間に
割って入ろうと
している……



君にはそれに見合うだけのモノになってもらうよ…!!



君の望みはかなえてあげるよ
——ただし——

俺も真理子を裏切ることになるわけだから……

愛という名の…〔中編〕

うん……そう

そんなもので
いいよ

わかってるね？
裕ちゃん

もうその姿勢を
崩しちゃダメだよ

俺の許可が
出るまではね



愛という名の…〔中編〕



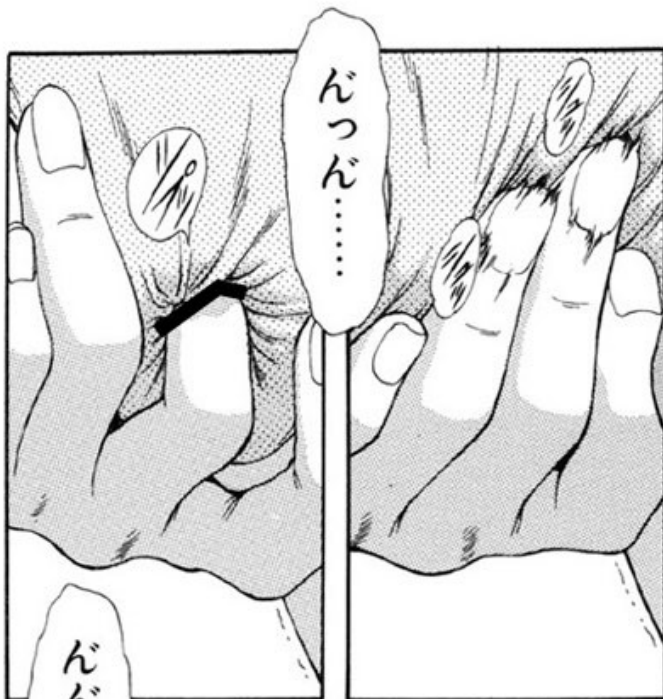
さて…………と

それじゃ…
始めようか
裕ちゃん……

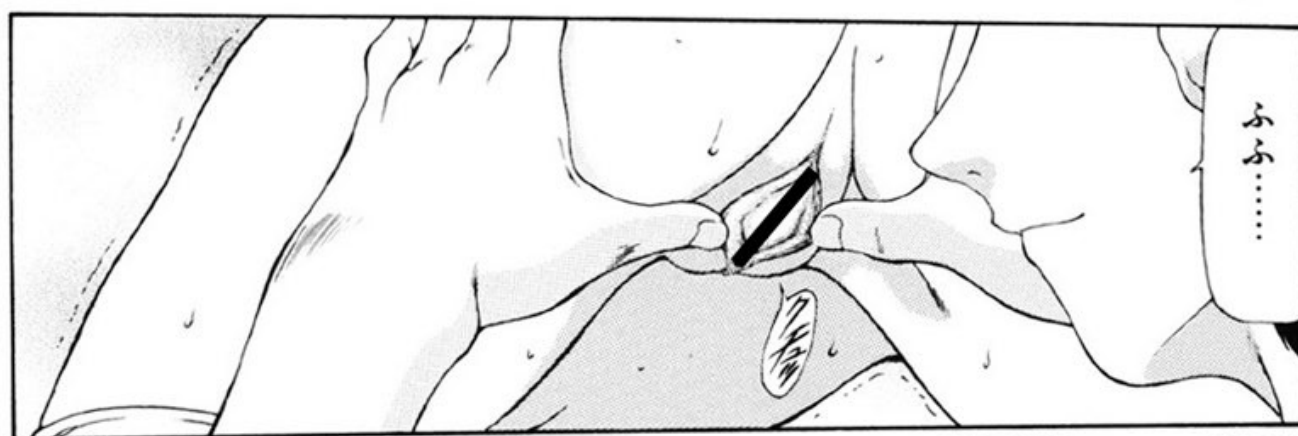


愛という名の…〔中編〕





愛という名の…〔中編〕





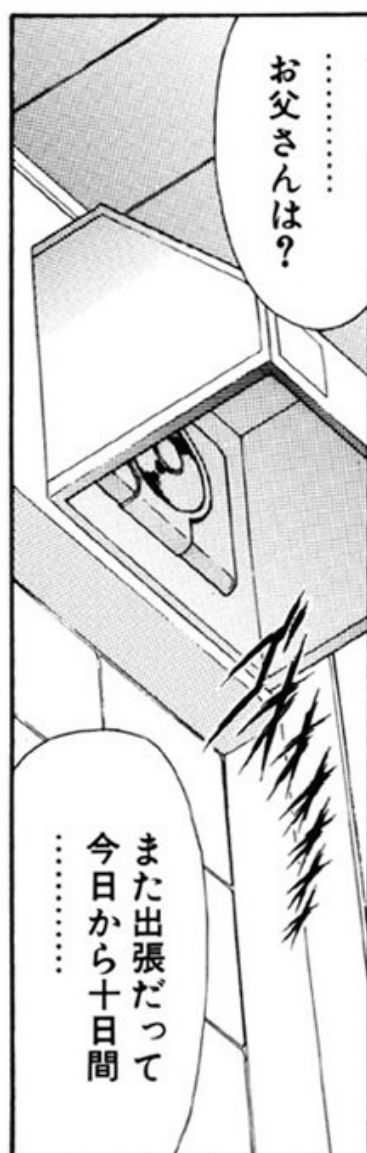




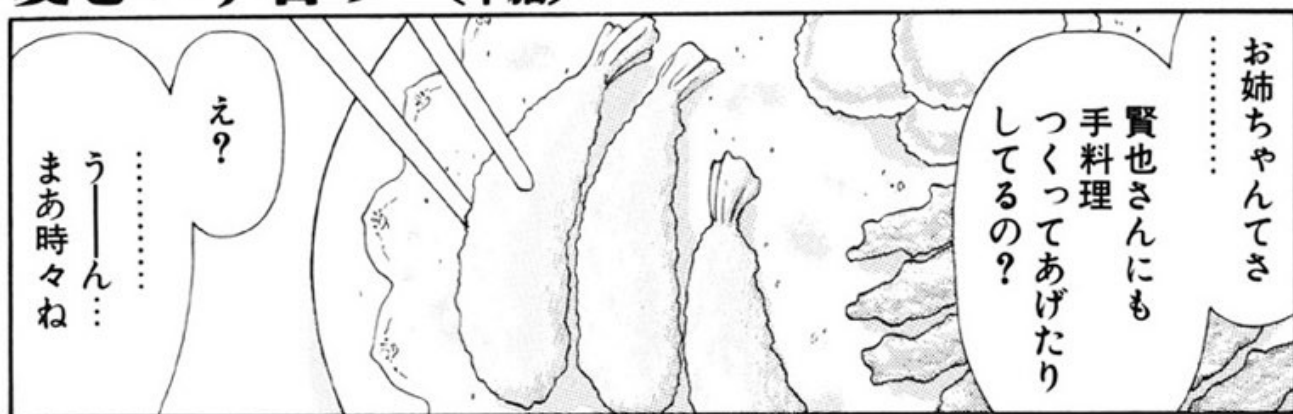


29





愛という名の…〔中編〕



31





まんべんなく
舐めるんだ

右手も
休めちゃダメだよ
もっと音を
たてるように……



ん……ん……

いいよ……
だいぶ上手に
なってきたね

ん……



んんん……

んん……



そう……
そのまま腰を
落として……

はあ

は

はあ



うああっ



あっ

ああっ



そう…
その調子

だいぶ自分でも
楽しめるように
なってきたみたいだね



あっ

はああっ

はっ



うあっ

あっあっ

34



はっ

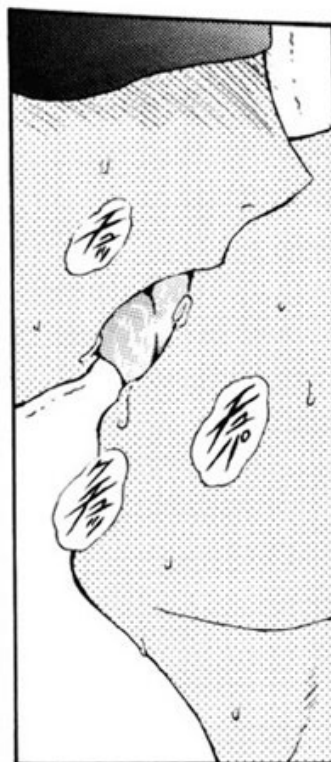


はあっ



いいよ...
今は思う存分
楽しみなよ

楽しんで楽しんで...
もうこれなしでは
いられなくなるくらいね





ふふ…
すごいよ
裕ちゃん



見てるだけなのに
どんどん
あふれ出てくる

こんな
いやらしい格好
させられて…

その上
苦しいんでしょ？

でも裕ちゃんは
それで
感じちゃってる
わけだ





ご…
御主人様あ…
はぁ

この…牝犬を
ここまで開発
して下さって…
はぁ

あ…ありがとう
ございました…
はぁ

おかげで
私も…
はぁ

御主人様のため
だけに存在する
……
はぁ

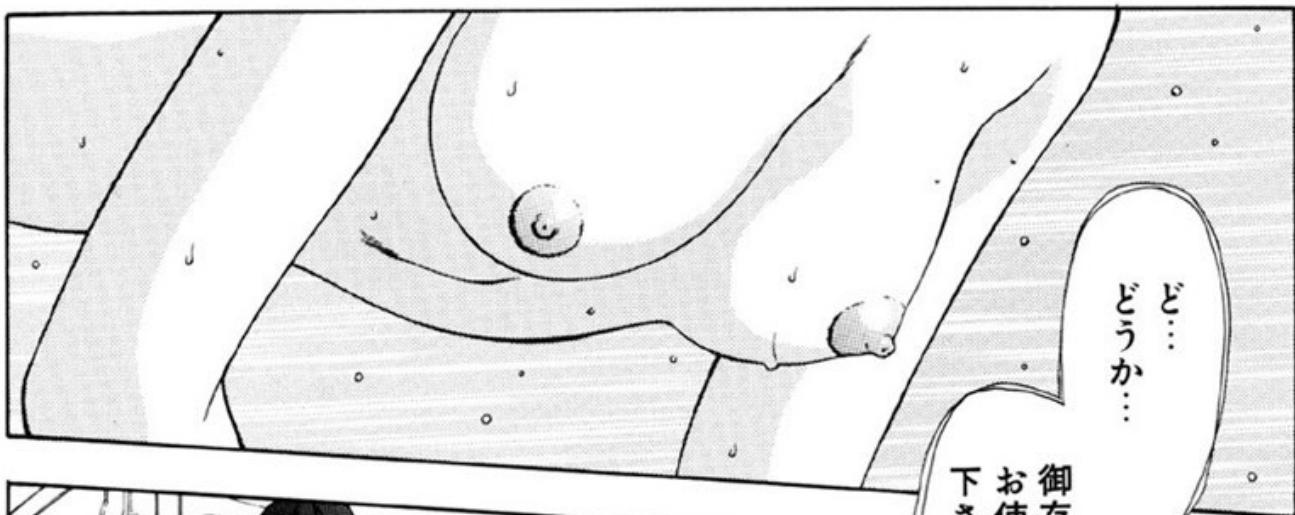
マ…マゾ奴隷と
なることが
できました…
はぁ



それじゃ…
こいつは外して
あげるからさ

言いたいことが
あるなら
遠慮なく言いなよ





今までお姉ちゃんに
向けてきたものを
.....

これからはずべて

私に注ぎ込んで下さい.....

お姉ちゃんに
してきたことを
これからは.....

気に入っていただけて
私もうれしいです

御主人様……

はい……

ありがとう
ございます

これでよし
……と

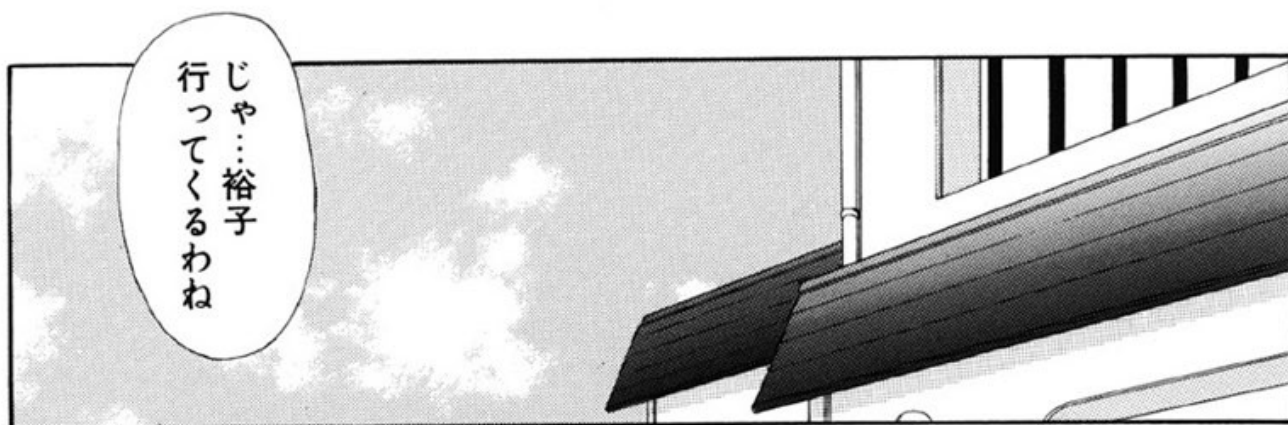
さ……
よく見せてよ

はい……



うん……いいね

とてもよく
似合ってるよ



愛という名の… 〔後編〕



愛という名の…〔後編〕



43









47



んっ…んんんっ!!



ゆっ…裕子!?

あなた…
どうして
こんな…



おっと…
勘違いしないで
くれよ……

なっ……
裕子

あっ…ああん

49

あん…
やめて下さい
御主人様

お姉ちゃんが
見てますわ……

ふふ……

あーん…♡
だめえ…
やめてえ……

これはすべて
裕ちゃんの方から
言ってきたことさ
……

取引したのよ
賢也さんと……

私は
お姉ちゃんの
代わりなの……

私が賢也さんの
性奴になって
その代わりに
……

お姉ちゃんを
もらったの

今日から私が
お姉ちゃんの
御主人様にな
ったのよ……

好き……
大好きよ
お姉ちゃん……

だから
これからは私が
お姉ちゃんの喜ぶことを
うんとしてあげるね

愛という名の…〔後編〕



51







54



愛という名の…〔後編〕



55





愛という名の…〔後編〕



57



ほらっ
早く……

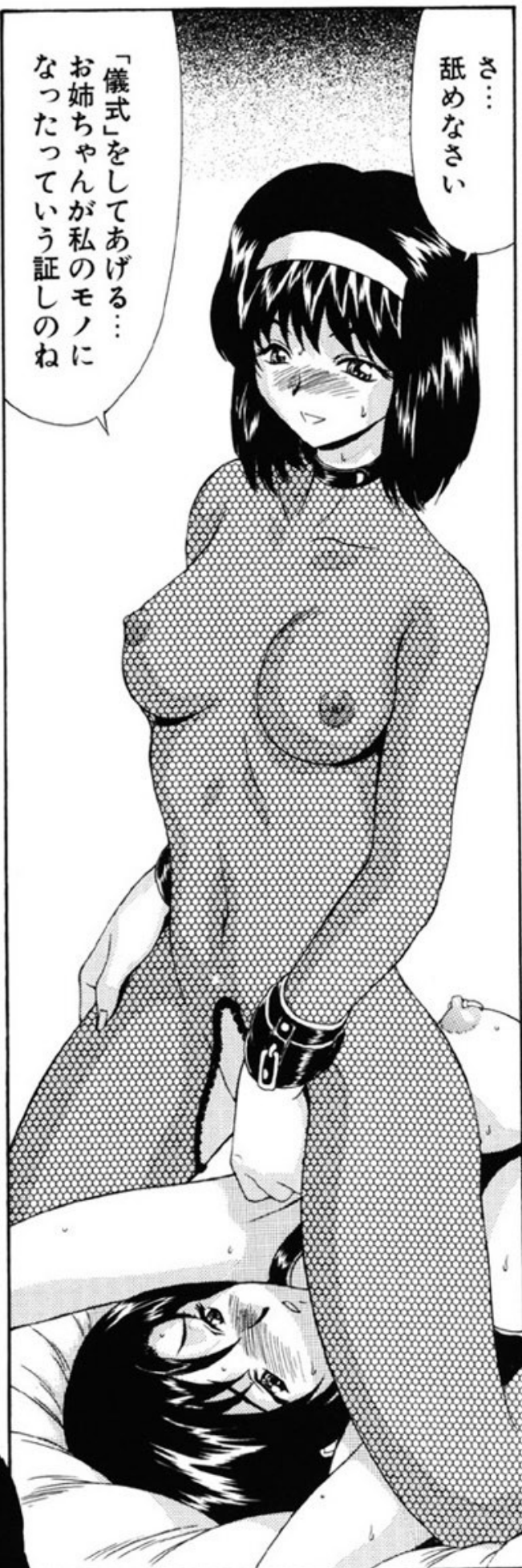
見てて
あげるからさ

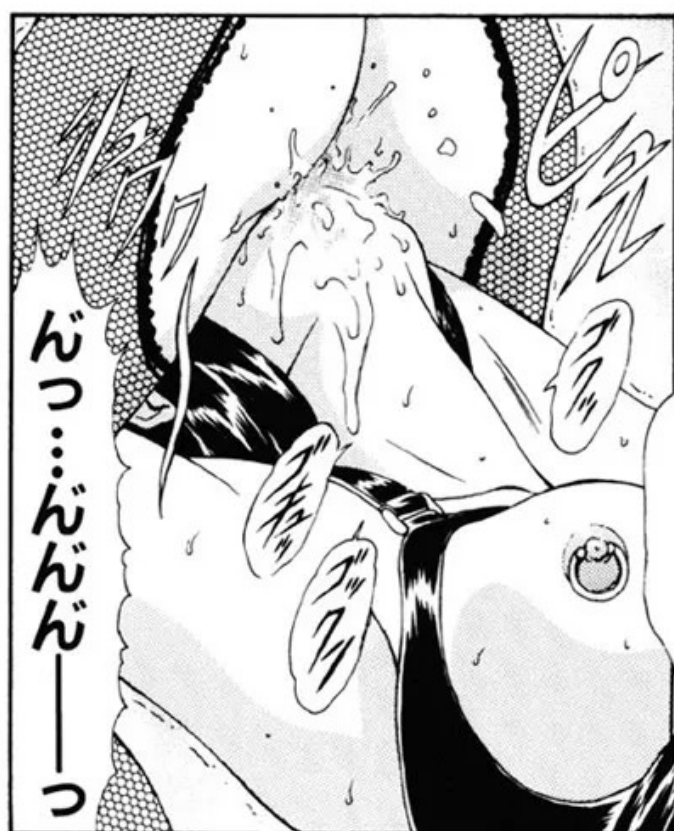


あ……

「儀式」をしてあげる……
お姉ちゃんが私のモノに
なったっていう証しのね

さ……
舐めなさい



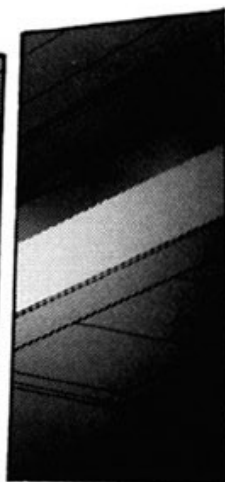


愛という名の…〔後編〕



59

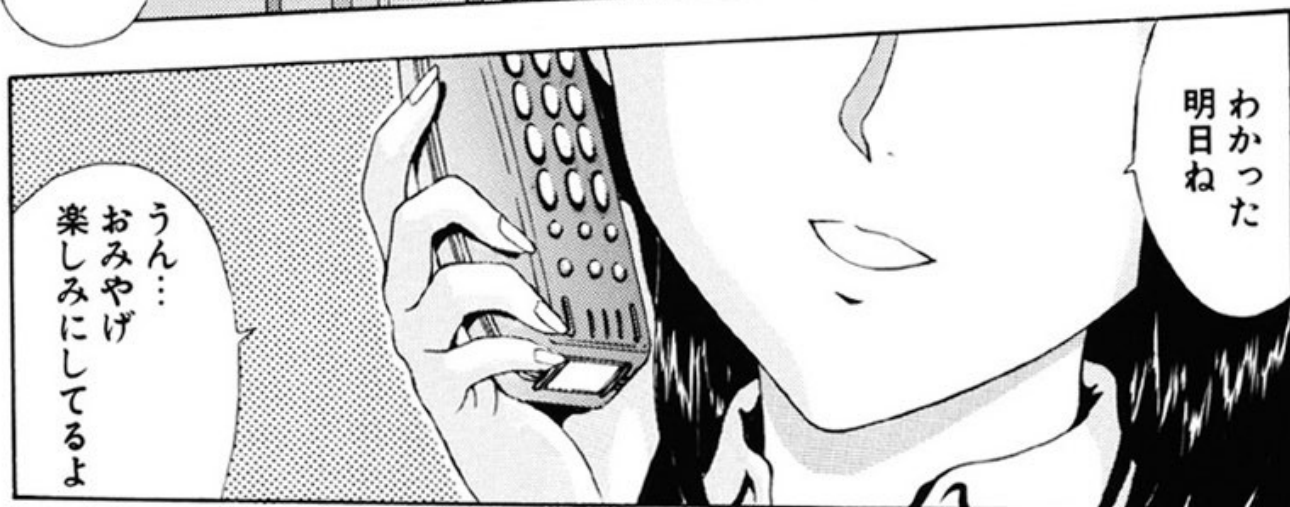




はい…
もしもし

あ…なんだ
お父さん

うん 私
裕子だよ



わかった
明日ね

うん…
おみやげ
楽しみにしてるよ



大丈夫
何も変わったこと
なかったし……

元気で
やってるよ
私もお姉ちゃんも
……



もう……

誰にも
じゃまされたく
ないもの……

愛という名の……(後編)／おわり

62

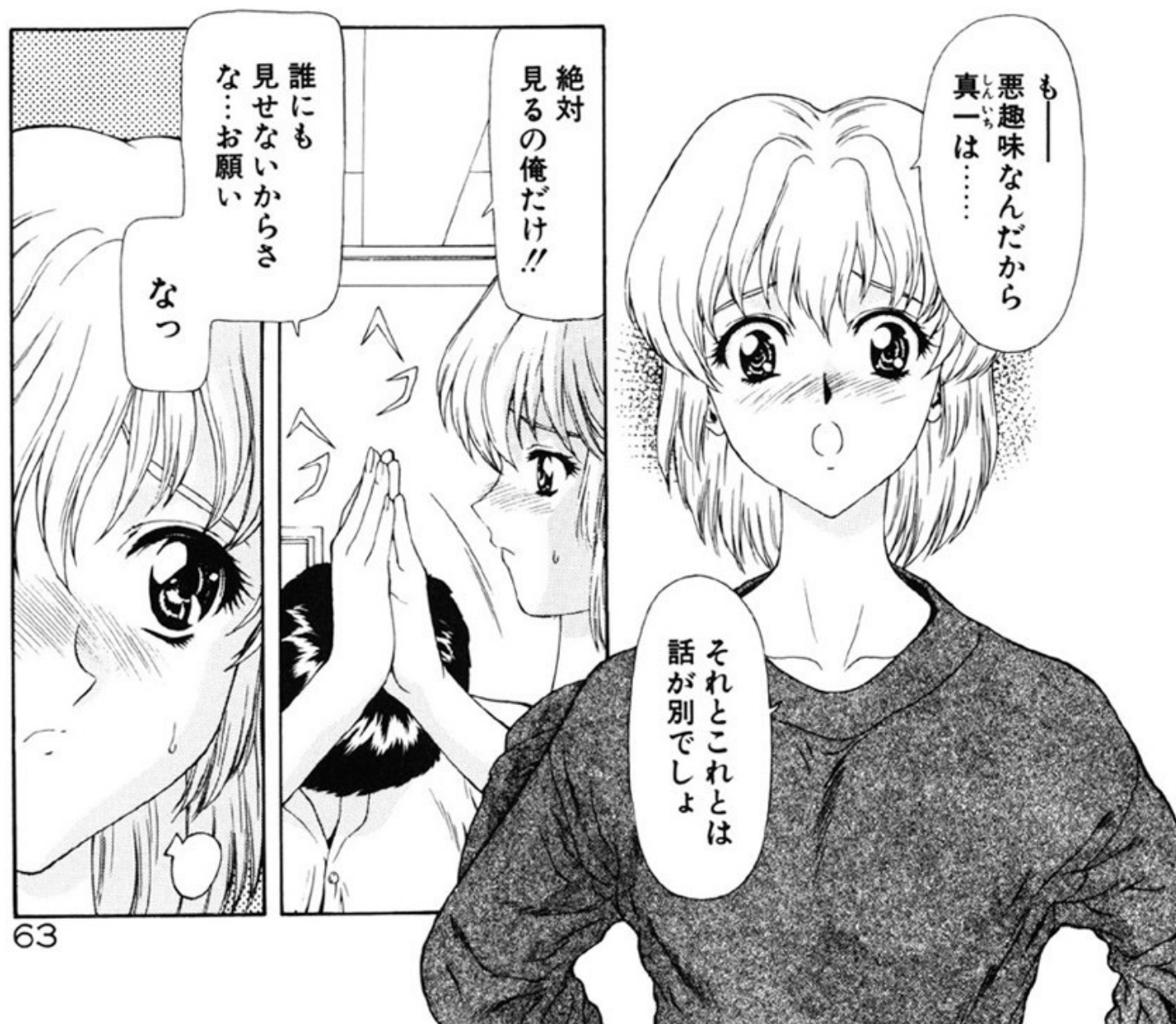
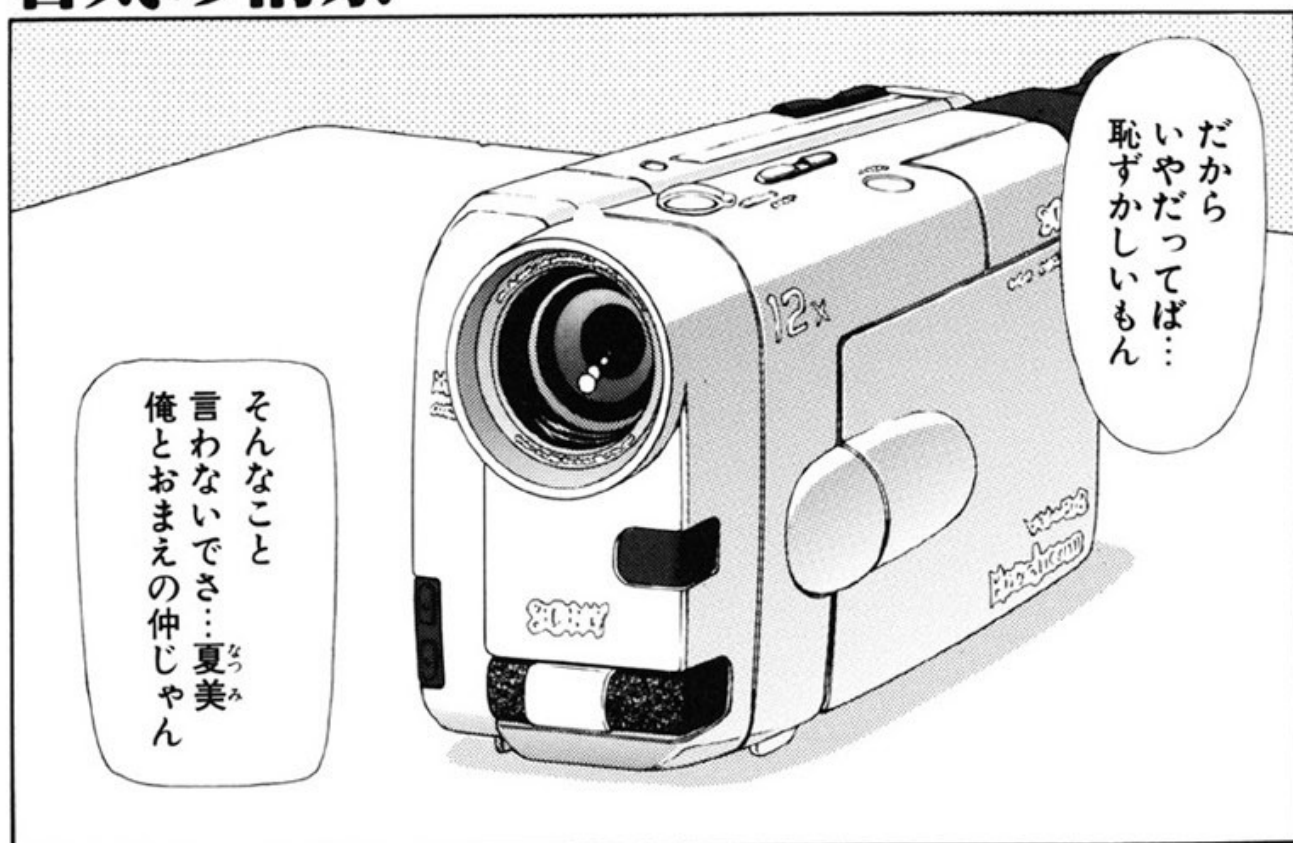
愛してるわ

このまま
お姉ちゃんと
……

私のお姉ちゃん……

ずっとこうして
いたいもの……

若氣の情景



しょうがないわね…
わかったわよ

そのかわり
ぜ——ったい
他の人に見せたら
ダメだからね

ほ…ほんとっ!?

あ…ああ もちろん
他のヤツなんか
見せるわけないだろ

あの時は本当に
彼…真一のこと
が好きでした

どうせ
撮るなら
キレイに
撮ってよね

おう
まかせとけて

だから……

彼の望むことなら
なんでも
してあげようと
思ったんです

じゅ……



65

これがきっかけで
自分がこの後
どうなつて
しまうのか……



この時は当然 知る由も
ありませんでした……

ふあっ……あ……

はああ……

若氣の情景

若氣の情景



67





何言ってるんだよ
もうおまえ
撮られながら
じゃないと
燃えないんだろ？

バ…バカあ!!
そんなこと
あるわけ
ないでしょ



そうかあ？
そのわりには
ここはこんなに
……………

おいおい
どろろだよ

ちよ…ちよつと
どこ
撮ってるのよ!!

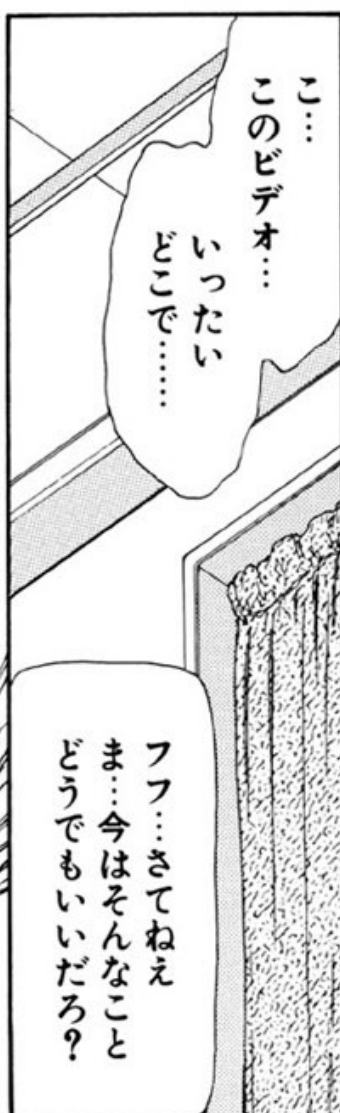
い…いやっ
いやあ…
そんな

若気の至りって
やつかな…
ねえ？ 皆川さん
みながわ

若氣の情景



69







!!?



唾液と混ぜて
よく……
味わうように……

舌で口の中全体に
なすりつけるんだ



ぐんぐん……



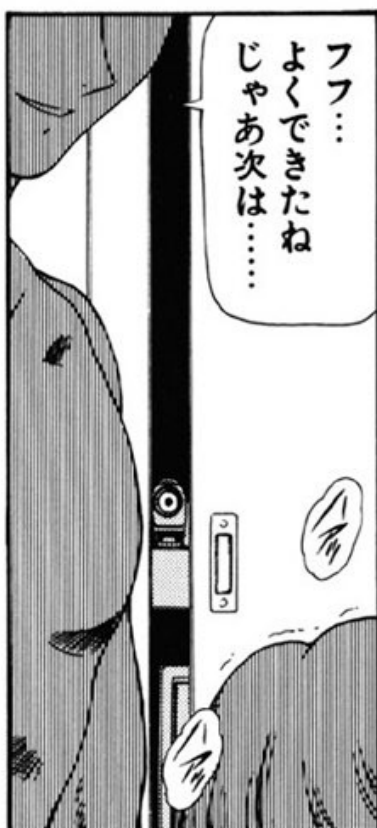
グイ

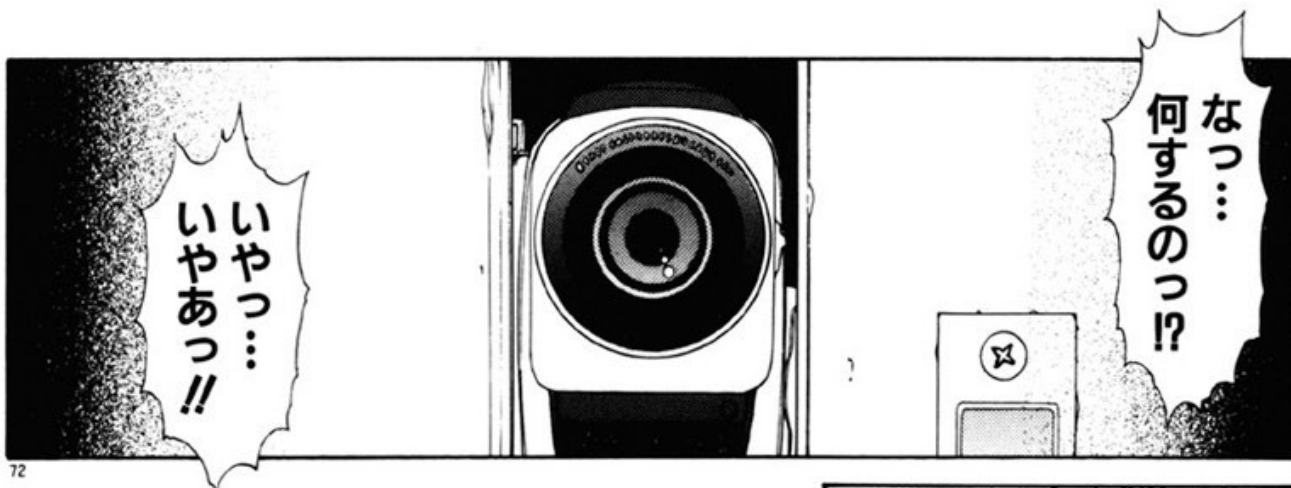
よし……
飲み込んで
いいよ



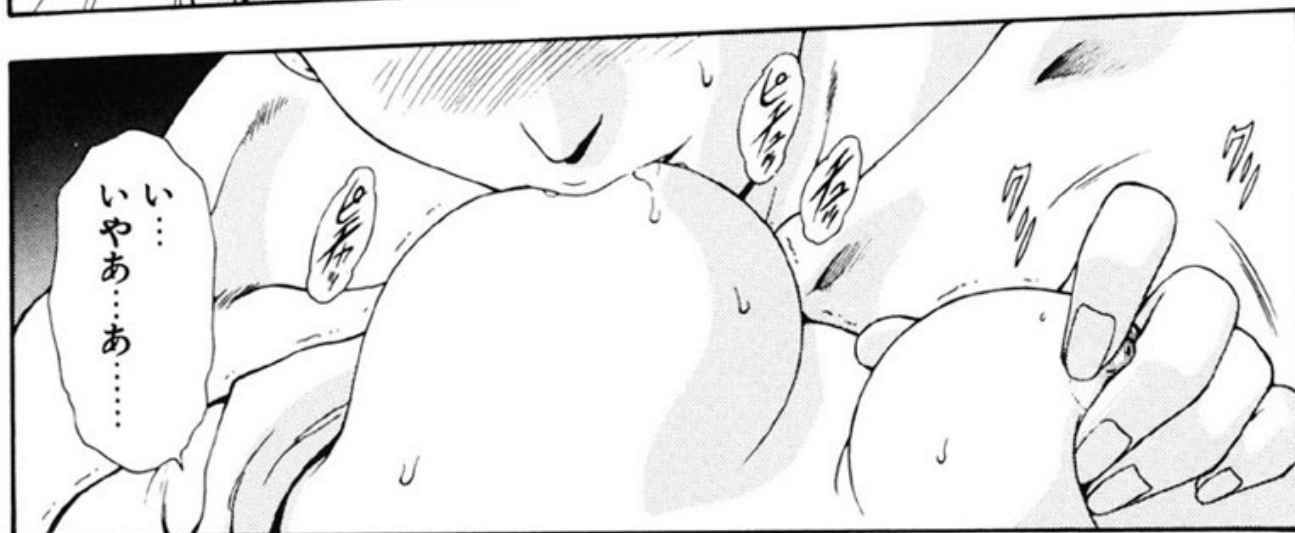
フフ……
よくできたね
じゃあ次は……

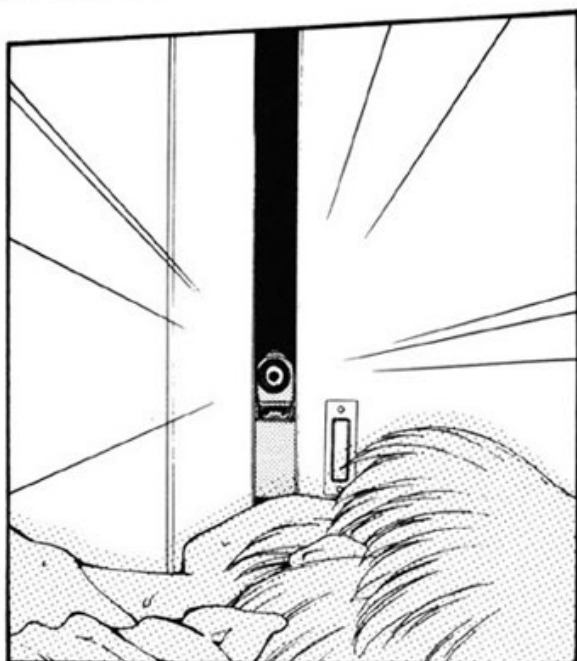
おっと……
吐き出しちゃ
ダメだよ





若氣の情景





若氣の情景



案外
ニブいんだね
皆川さんて……

なんだ…今頃
気がついたの?

せっ•かくの
お•い•し•い•ネ•タ…
そう簡単に
手放すと思った?

それに考えも
甘すぎるよ

も•っ•と•も
約•束•は•ち•ゃ•ん•と
守•る•け•ど•ね

そ•ん•な

そ•ん•な

テープは
返してあげるよ
さ•っ•き•見•た
テープはね……

な•っ•…•何•っ

何•よ•あ•れ•!?



押し入れの中に
あるのまさか
ビデオじゃ……



76



若氣の情景





だ…だめ……

ああっ……

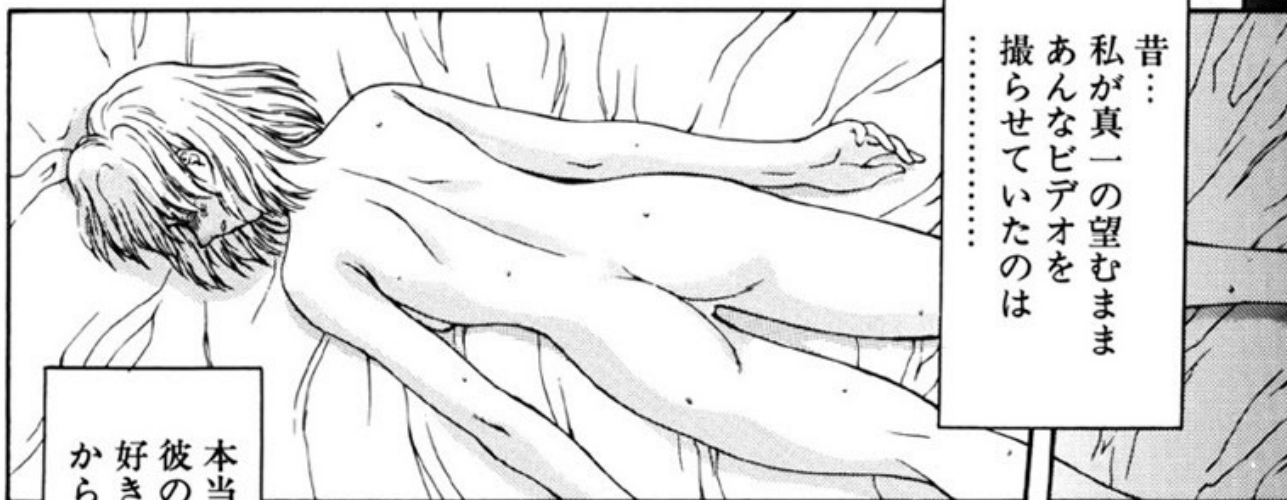
はあっ……
あ~~~~

だめえ……

撮っちゃ
だめえ~~~~

ゲル

ド
グ



昔……
私が真一の望むまま
あんなビデオを
撮らせていたのは
……………

本当に
彼のことが
好きだった
からです……



……………



そして——

ガ
ラ
ッ

ねえ……

……………

若氣の情景

どうだった？
真一……

今夜の撮影は
お気に召したかしら？

その気持ちは今も
変わっていません

あのな……
お気に召すも
何も……

さっきのシ・ナ・リ・オを
考えたのは
おまえだろ……夏美



俺は別にあんな
イメクラみたいなこと
しなくても
いいんだけどね……

何よお
真一だって
ノリノリで
やってたじゃ
ないの

82



でも…今
こんなビデオを平気で
撮らせているのは……

はーあ…
おまえって昔は
もっと慎み深い女
だったのに…

どうして
こんなふうにな
っちゃったんだろ

あのねえ!!
誰のせいだと
思ってるのよ!!
誰のっ!!

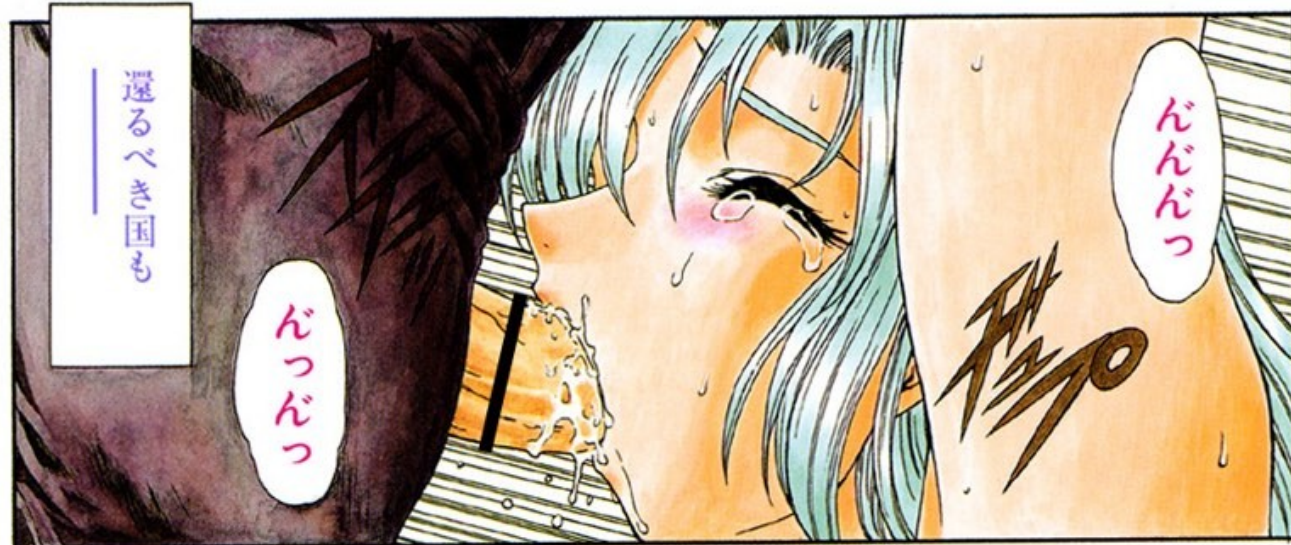
彼が望んだから…
…だけというわけでは
ないんです

✧若気の情景／おわり

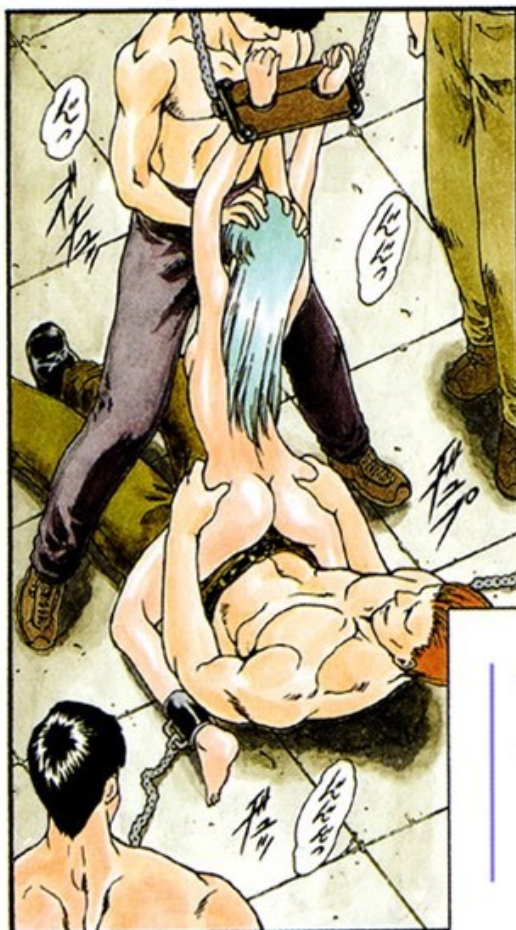
心の城壁



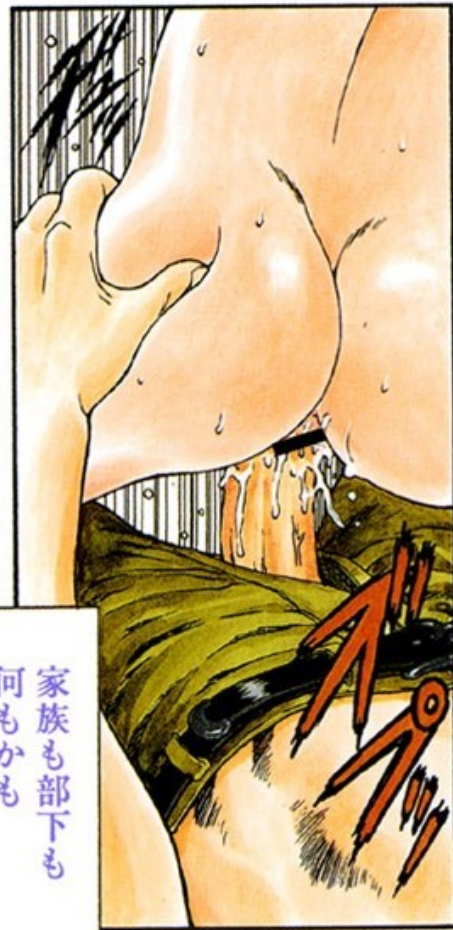
私には
もう何も残ってはいない……



還るべき国も



家族も部下も
何もかも



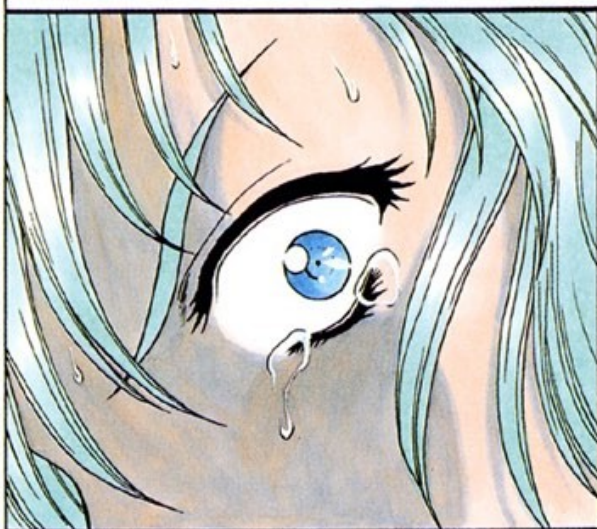
すべては戦火の中に
消え果てていった
.....

へへ……
さすが元・姫様
残さず飲んで
下さるとは行儀の
よろしいことで……

私には
もう望むものは
何もない……



ただひとつ――



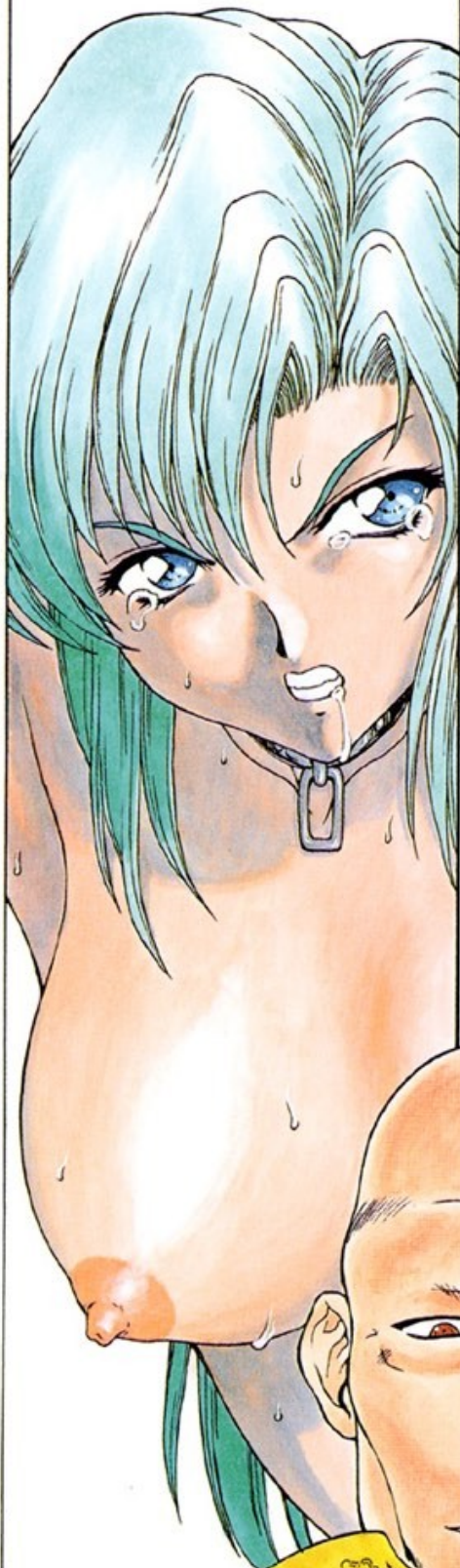
こっちの穴からも
すぐにたっぷりと
飲ませて
差しあげますからね



心の城壁

ただ一人の人間の命

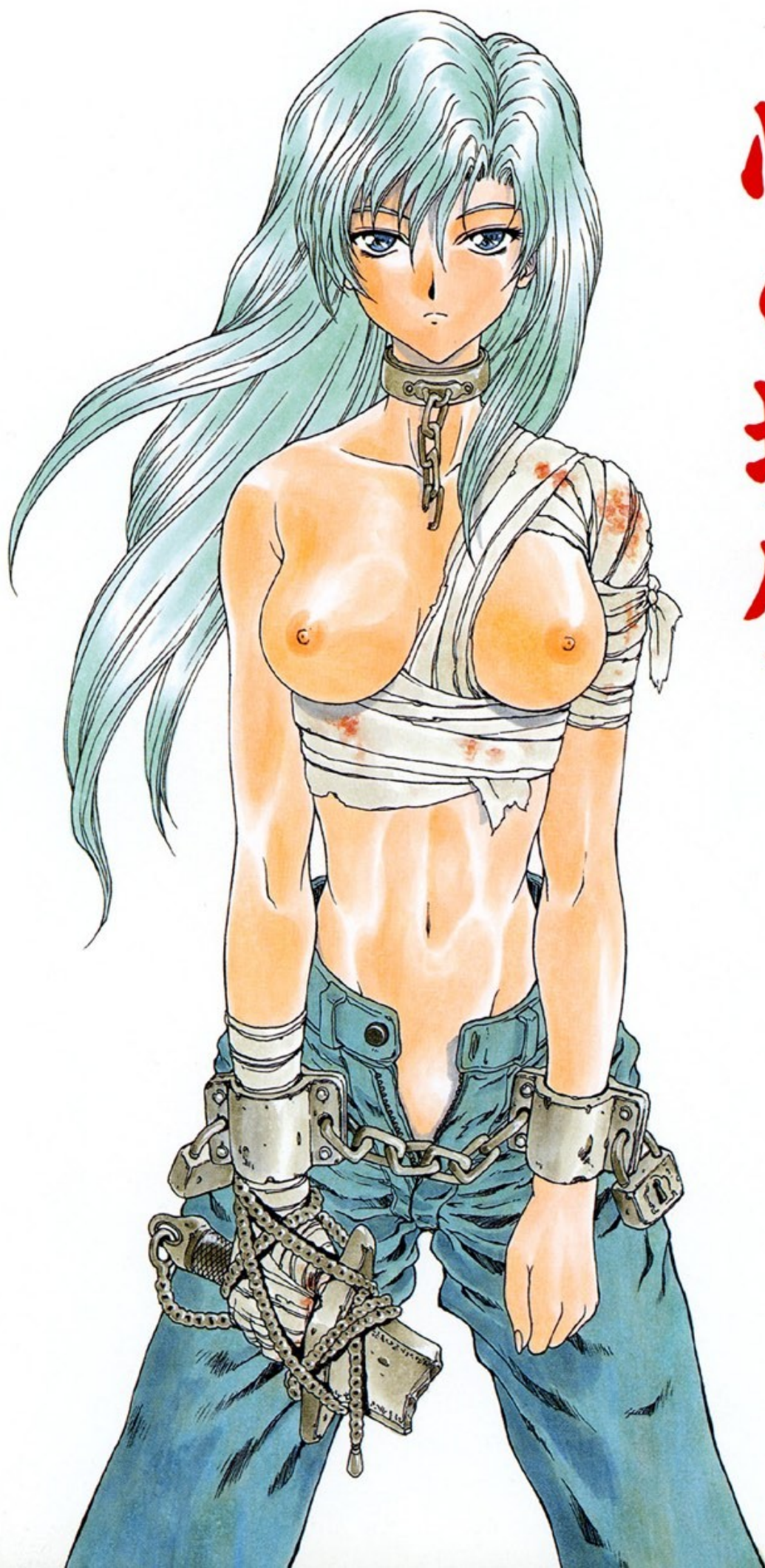
それさえ望めるならば他には何も……



いかがですか
ファルナーヤ姫

そろそろここでの
生活にも慣れて
いただけましたか？

心の城壁





私は本来…
あの時に
自害するべき
だったのかも
しれない…

87





命が惜しかった
わけではない……

死ぬ覚悟など
とつくにできている

だが
一人では逝かん!!

この男だけは――

どうだ?
具合の方は……

父を裏切り
国を売った
この男だけは
どうあっても
・連・れ・て・逝・く・!!!

それまでは
たとえどんな生き恥を
さらしたとしても……

へへ……
こりやどうも
バロウ様

見てのとおり
もう従順そのものですよ
ま……これだけ毎日
朝から晩まで
犯られ続けりやあ……ね



.....
ふん



ダメだ.....

くっ.....

ヤツを見ると
どうしても感情が
表に出てしまう



ただし
薬は使うなよ

私はその女が
心の底から屈伏している
姿が見たいのだ



まだまだだな
.....

もう少し
ほぐしてやれ..
多少手荒く
なってもかまわん

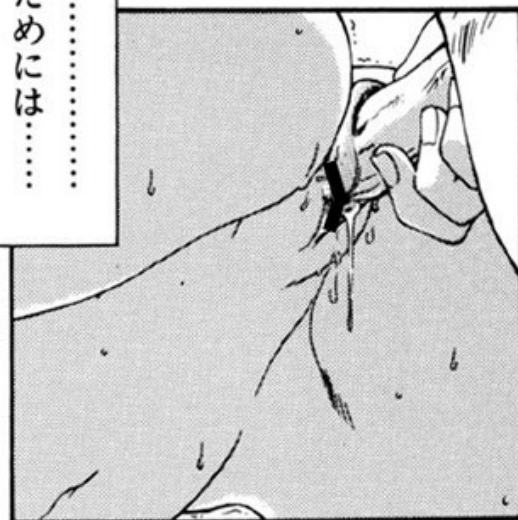
これじゃ
ダメなんだ
.....

あの
猜疑心の強い
小心者に
近づくには
まず
油断させなければ
.....

私が完全に堕ちたと
思い込ませれば.....



.....
そのためには.....



.....
何をされても
.....

今は
この下衆どもに

そうすればヤツと
二人きりになる
チャンスもきつとくる

よかたせ
俺また
犯り足り
なかつたもんな



ぐんっ……

ぐんっ……

ぐんっ……

感情を
押し込めろ……



心の城壁



心と身体を
完全に
切り離せ!!



たとえ身体が
このまま肉欲に
溺れても……



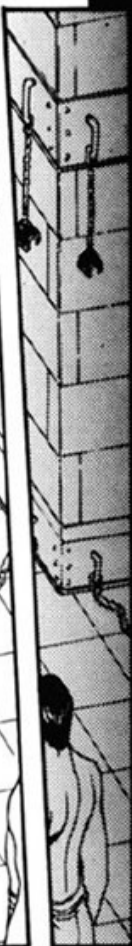
心までは
流されないように
.....



壁をつくるんだ
心と身体の間に
.....

高い.....

高い城壁を——





あれから
どれくらいの時が
流れたのか……

そしてその間
自分が何人の男を
受け入れたのかは
まるで見当も
つかない……

しかし……

今はもう
そんなことは
どうでもいい

ついに
きたんだ――

ガチャ

心の城壁

お久しぶりですね
ファルナーヤ姫…

今日から私が
あなたの飼い主です

この機会が

!!!

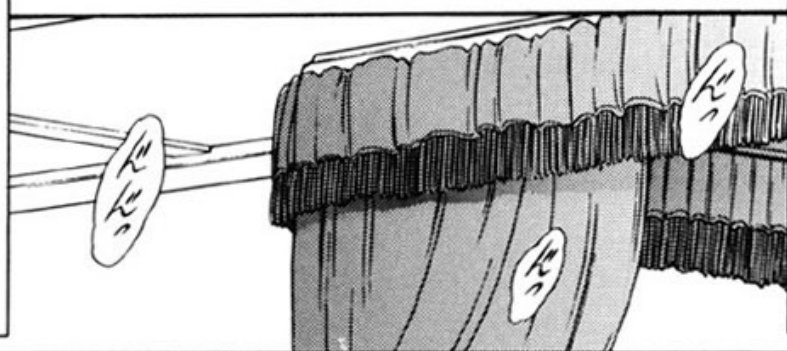
楽しみですよ
あなたの
生まれ変わった姿を
見るのがね……

は…はい……

精一杯
ご奉仕させて
いただきますので
どうかよろしく
お願いいたします
……

この汚れきった牝犬を
引き取っていただき
ありがとうございました

どうやら
この男には
私が完全に堕ちたと
思い込ませることが
できたらしい……



毎夜
二人きりの時でも
まるで
スキだらけだ

今も……

その気になれば
この
汚らしいモノを
噛み切ること
だって……



しかし――

失敗したら
二度目は
ないんだ

ククク……
美味かったか？
ファルナーヤ

そのためには
この男をさらに
油断させなければ……



あまりあせって
うかつなことを
するわけには
いかない……

もつと確実に
殺せるチャンスは
きつとくる



心の城壁



私の心の中は
今も変わらず
この男に対する
憎悪で満ちている

ぐんっ

だが……

ぐんっぐんっ

ぐんっ

はああ……

あの時張った
心の「壁」は……
決して破られることは
なかったんだ!!

バロウ様あ
~~~~~



それからヤツとは  
何日かの夜を  
ともに過ごし……

その間には  
寝首をかけそうな  
チャンスも  
何度かあった

しかし……  
失敗は許されない  
今の状況では……  
事は慎重に  
慎重を重ねる  
必要がある

だから…今は  
もつともつとヤツを  
油断させるんだ

……でな  
その見せ物小屋では  
犬と人間を交尾させる  
ショーなんかも  
やっているんだが……

ぜひ おまえがそれに  
出演している姿を  
見てみたいのだよ

より確実に  
ヤツを殺せる状況を  
つくり出すために  
……

102

大丈夫……  
たとえどんなに  
身体を支配  
されたとしても  
……

この男への  
復讐心が  
鈍ることはない

は……はい……  
わかりました……  
出ます……

パロウ様に喜んで  
いただけるなら  
なんでもいたします

ですからこれからも  
ずっと……ずっとファナを  
かわいいがって下さいませ  
……

私の心には  
決して破られることのない  
「城壁」が張り巡らせて  
あるのだから……!!!



# 賛えられる女



私を抱いた男は  
みんな  
言ってくれる――

私の方がいい  
.....

103



フフ..  
竹下さんと  
比べたら...?

マ...マジ  
上手いな  
倉崎..  
ほんと..  
すごいよ  
おまえ.....



私は最高だ  
.....  
って

あ...ああ..  
もちろんおまえ..  
おまえの方が...

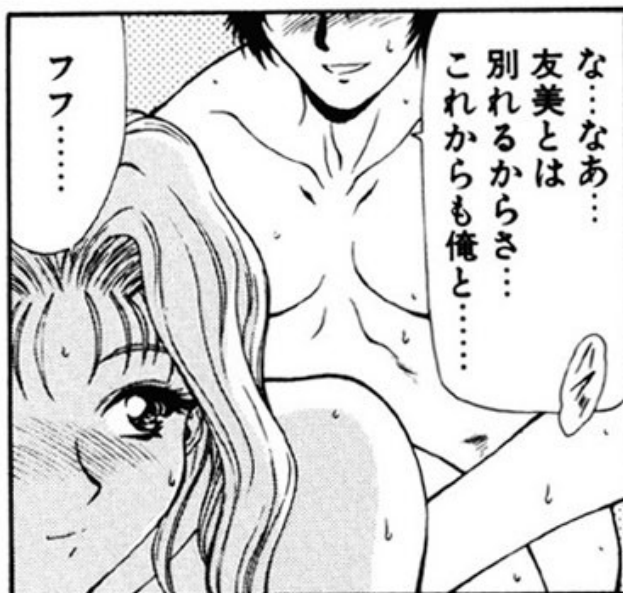
# 賛えられる女

そうよ…  
そのとおりだわ

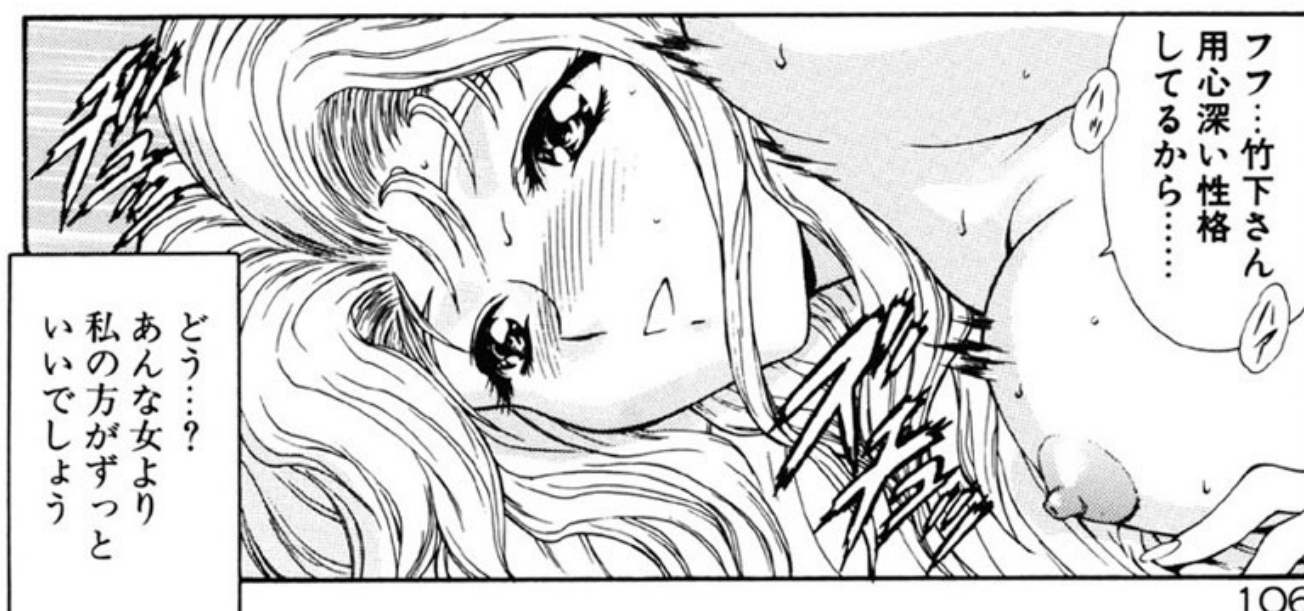
私が一番いいに  
決まってるわ…  
他のどんな女よりもね



# 賛えられる女







私が……

はっ

あっ

あっ……あ……

あっ

私の方が  
ずっと……

あああっ

ああ~~~~



いやあ…感激だよ  
ほんとに  
着てくれるなんて…

ちよつとサイズ  
小さかったかな

ハ…ハハ…  
まあね……

どうでもいいけど  
これ…うちの学校のじゃ  
ないわよね  
どこからもってきたの？

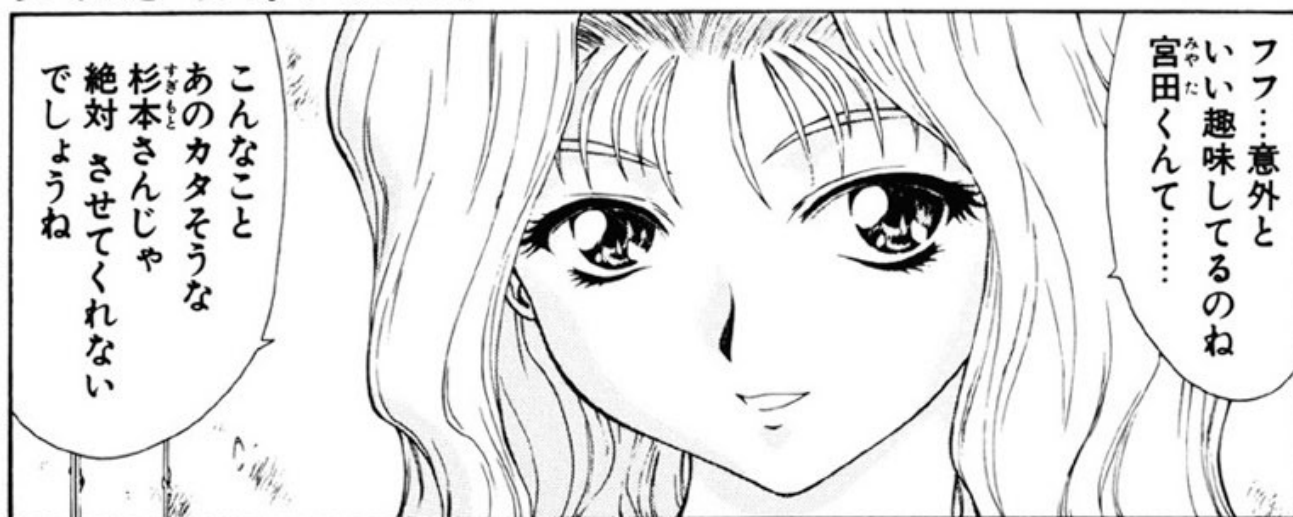


え？

ど…どうでも  
いいだろ  
そんなことは……



# 賛えられる女

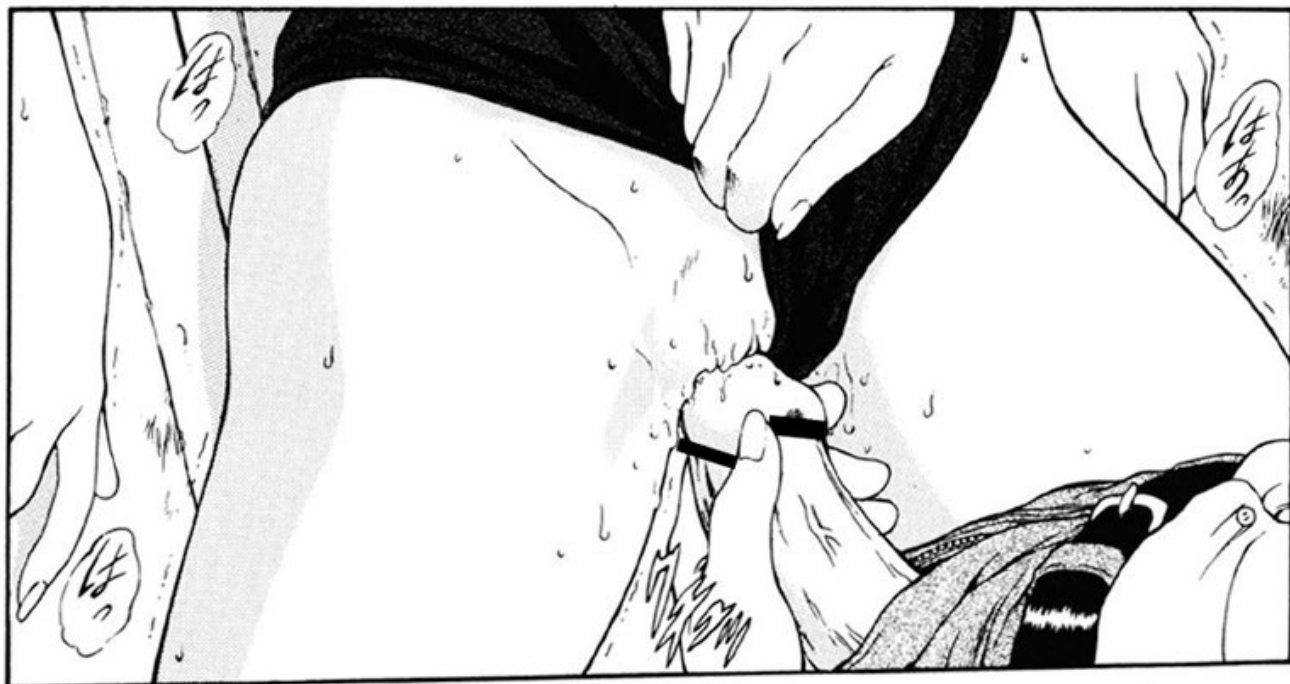


109





# 賛えられる女





す…すごい…よ  
倉崎さん……

こんな気分  
初めてだ  
………

杉本さんと…  
杉本さんとしてる時と  
比べたら…？

そ…  
そんなの…  
比べモノに  
ならないよ

112

あ…ありがと  
………  
うれしいわ

あたりまえよ  
私の方がいいに  
決まってるわ!!  
私の方が  
ずっと………

ほ…  
ほんと？

く…倉崎さん  
俺 顔にかけたいよ  
いい？  
許してくれる？

い…いいわ  
いいわよ  
思いつきり  
かけて!!

113



どんな男も  
私は最高だと  
言ってくれる……

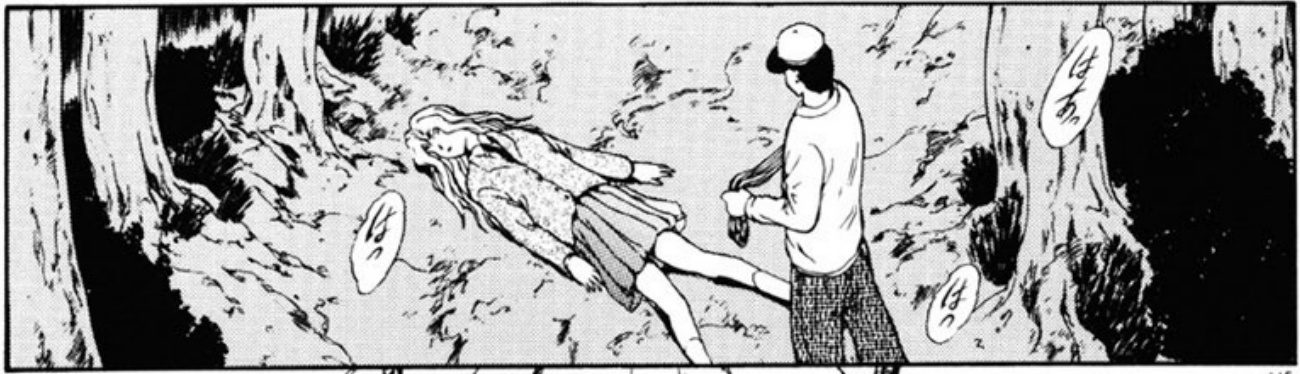


当然だわ

だって私はたとえ  
何をされたとしても  
それに応えることが  
できるもの……

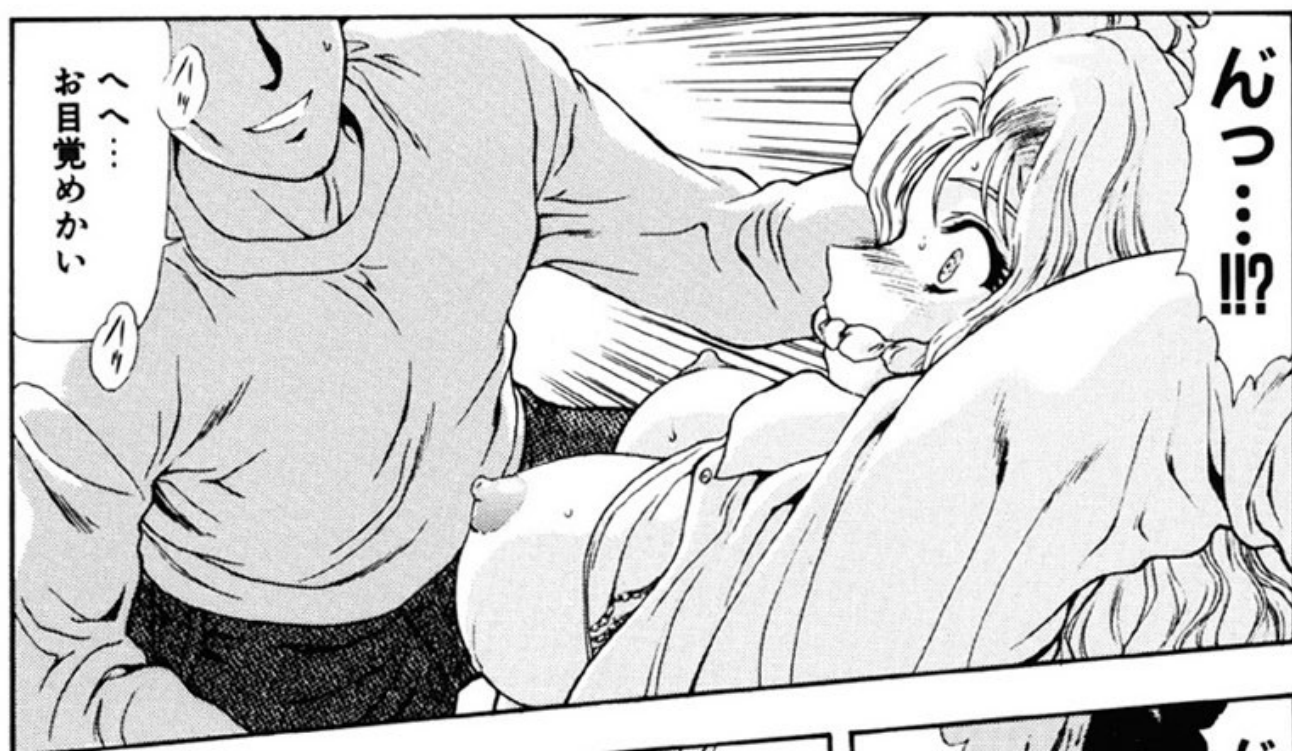


# 賛えられる女



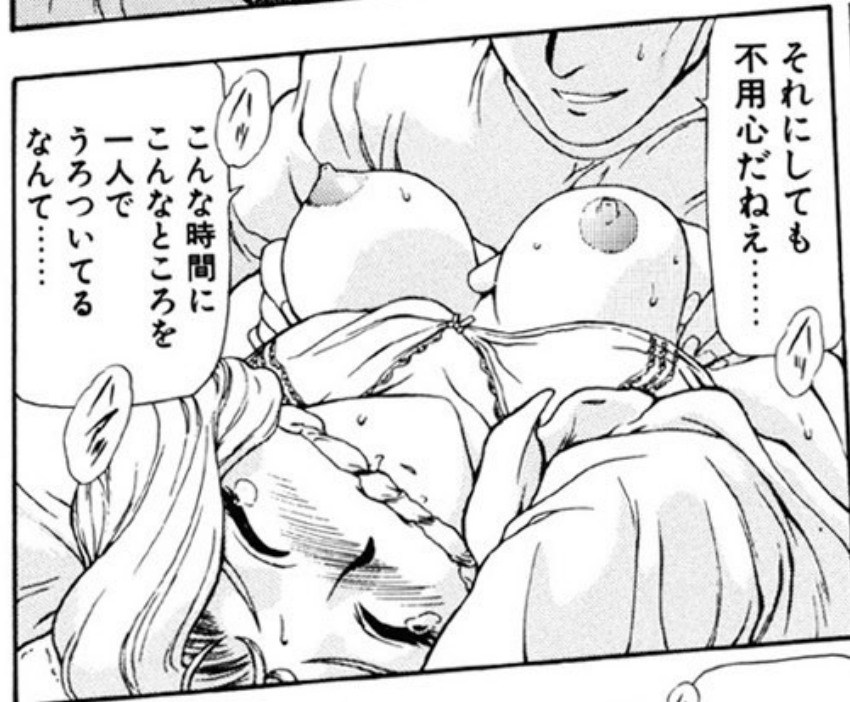
115





んっ…!!?

へへ…  
お目覚めかい



それにしても  
不用心だねえ……

こんな時間に  
こんなところを  
一人で  
うろついてる  
なんて……



へへへ…  
すぐ済むからよ  
しばらく  
じっとしてなよ

んん……



んんっ

んんんっ

騒いでもムダだよ  
ここは公園の  
一番奥なんだから……

# 賛えられる女







118



これじゃ…  
聞けないの  
じゃないの



私が……

ぐんぐん



私が一番いいでしょう？  
——つて……



ま…  
待ってよ……

この…  
さるぐつわを  
取ってよ!!



ぐんぐん……

グッ

まったく……  
冗談じゃ  
ないわ!!

これじゃ……  
わざわざ  
こんなところまで  
きた甲斐が  
ないじゃない!!

でも……まあ  
さっきの男  
だって……

きつと  
心の中では  
こう思ってたに  
違いないけどね

120

今までで  
一番  
よかったって……

私は今までに  
レイプした中でも  
最高の女だったって  
……………

✧賛えられる女／おわり





# PRISON GAME シリーズ

性に対する好奇心が旺盛な

あ

王女エステシアは

あ

地下牢を遊び場とし

夜ごと囚人達を相手に

自らの快楽を満たしていた——

そして更なる刺激を求め エステシアが  
従者ハルバドスへと出した指令は……

ハルバドス

姫に忠実な  
近衛隊長

GAME 1、2、そ  
してエステシアの過去  
が明かされる番外編は  
Xコミックス「フィジ  
カルメッセージ」(好  
評発売中)に収録され  
ています。詳しくは、  
そちらをご覧ください。

エステシア

武術にたける  
勝気なお姫様

# NONGLORY HEROINE(前編)



姫…

エステシア姫



私も偶然  
見かけた時は本当に  
びっくりしたわよ

でしょう？



しかしまさか  
あれほどとは……

最初に  
見た時は一瞬  
わが目を疑って  
しまったほどです



あら  
ハルバドス

どう？  
連れてきて  
くれた？

は…  
その点は  
間違いなく



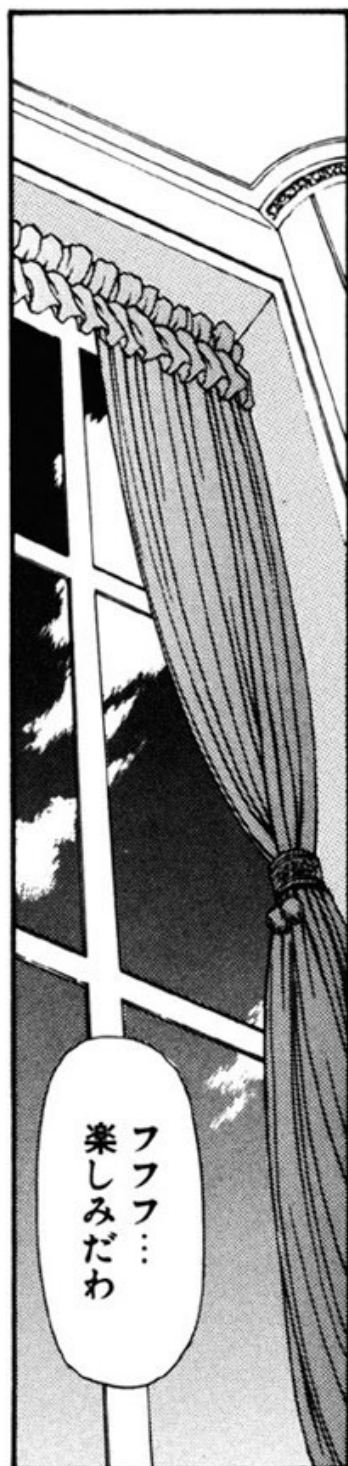


父を早くに亡くし  
物心ついた時から  
羊の世話以外の仕事は  
したこともなく……

## 〔前編〕



知り合いの医師の話では  
母の病気は  
完治させることができる  
らしいのですが……



フフフ…  
楽しみだわ



でも  
これで……

一度でいいから  
出てみたかった  
あの「パーティー」に  
行くことができるのね

母はもう何年も  
病床に臥したまま  
それが今までの  
私の人生を語る  
すべてでした……



# PRISON GAME III NONGLORY HEROINE

それには  
相当 高額な薬が  
必要なのだそうです

それこそ  
家にいる羊をすべて  
売りはらっても……



あるいはこの身を  
金銭に代えたと  
しても

はい……

ガチャ

あ……

あの……  
な……何か……

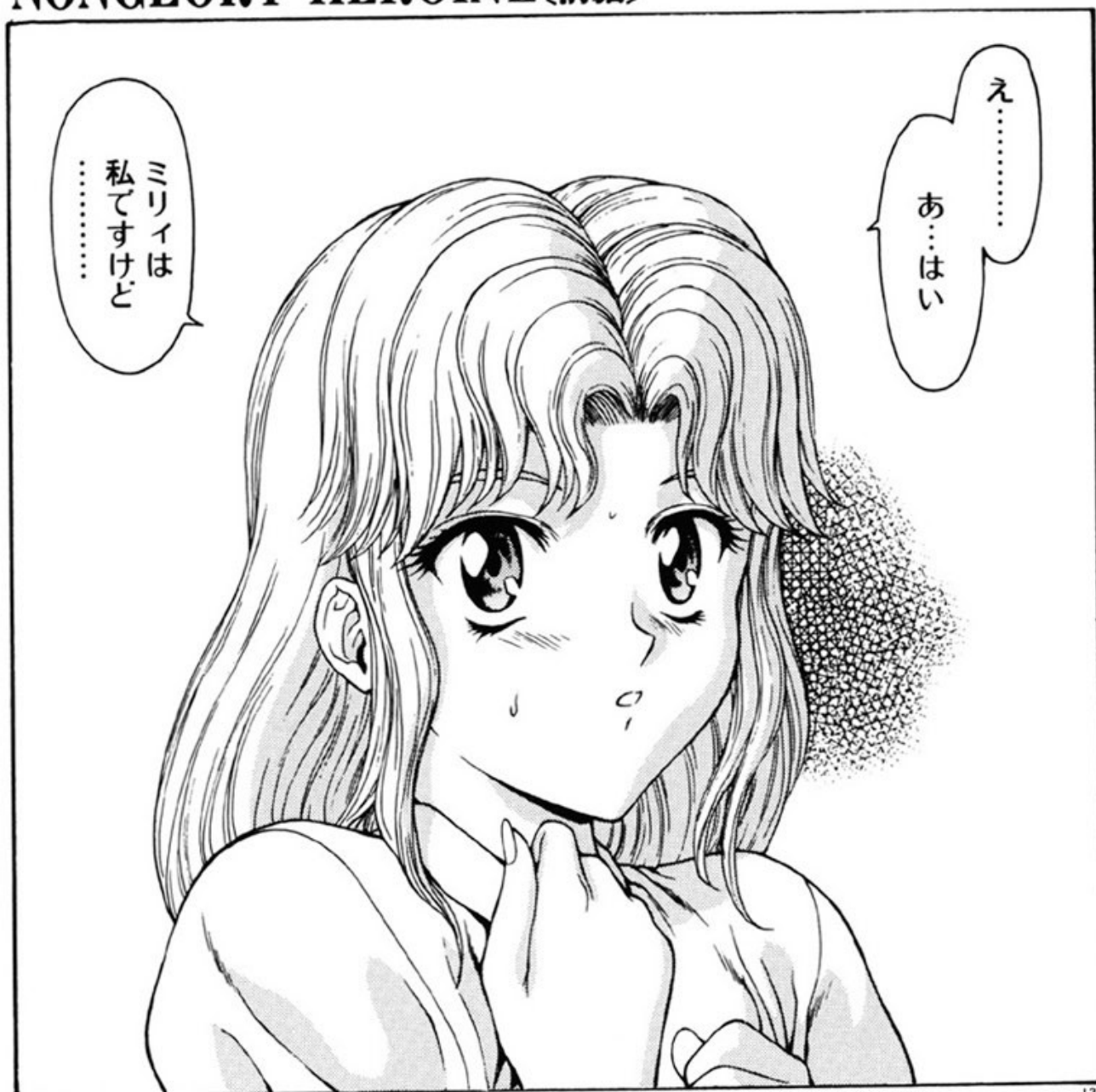
失礼……

私は「リック」  
という者だが……

「ミリィ」  
ハーバーは  
あなたですな？



# NONGLORY HEROINE〔前編〕



ミリィは  
私ですけど  
.....

え.....  
あ...はい

127



あの人が  
家を訪れたのは  
.....

ぶしつけなことて  
申しわけないのだが  
.....

あなた  
貴女と折り入って  
話がしたい

少々時間を  
もらえない  
だろうか？

は？...はあ...

それは  
かまいませんけど

そんな  
途方に暮れていた時  
だったのです



とにかく  
くれぐれも  
内密に頼むぞ

それから  
何をするにも 逐次  
俺に報告を忘れるな

128



クク…  
その点は充分  
心得ております

このようなことが  
陛下はともかく姫に  
知れたら お互いタダでは  
すみませんからな……



ほう…  
それほどまでに  
似ているのですか

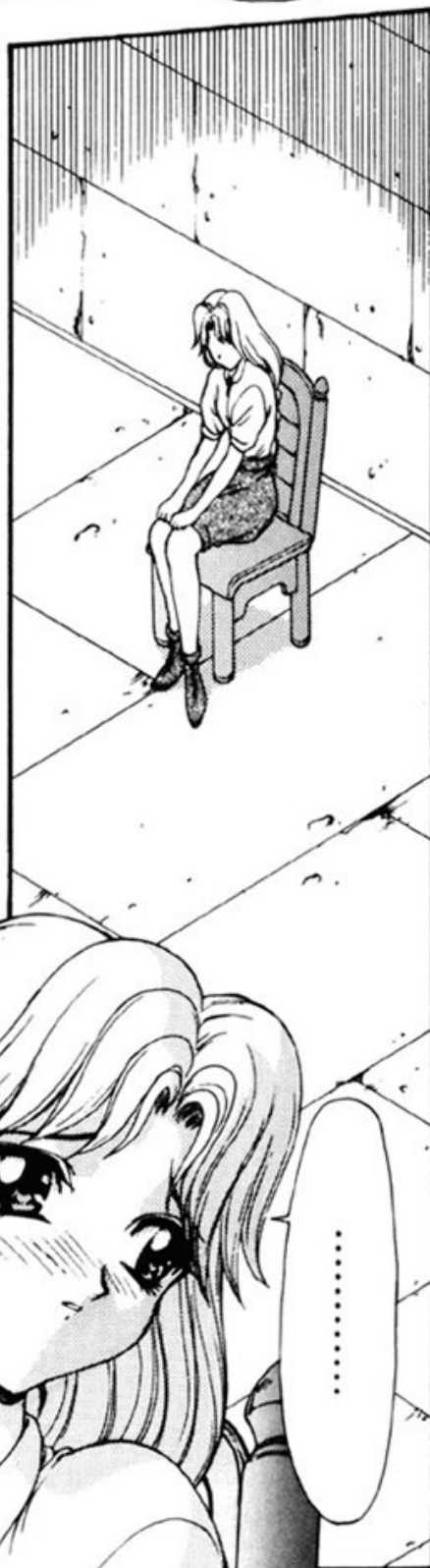
ああ  
それはもう…な

あなたがそこまで  
おっしゃるとは…  
これは楽しみな  
ことですな

「パーティー」までには  
あと3日……  
それだけあれば  
完璧に仕上げて  
ごらんにいれます

私……これから  
どうなっちゃうんだろ

やっぱり怖いよ  
覚悟はしてきたはず  
なのに……







で……でも  
私……  
何もできない……

生まれてこのかた  
羊の世話しか  
したことが……

そんな私に  
何をしろって……



それはその都<sup>っ</sup>度  
こちらで説明する

さつきも言ったとおり  
……  
条件は今日から10日ほど  
いっさいの質問をせずに  
私の指示に従って  
もらうことだ

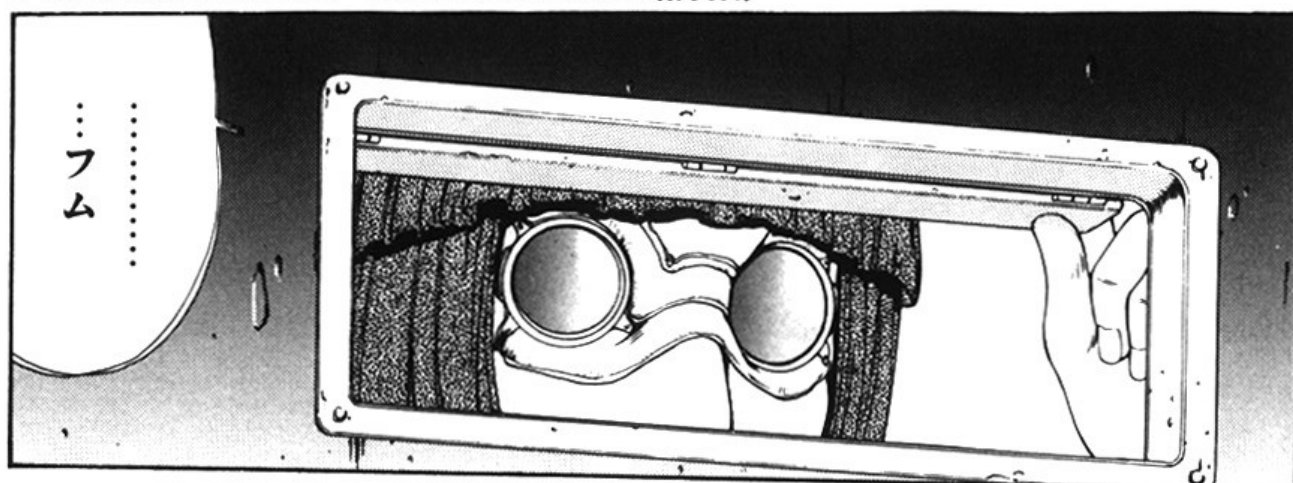
危害を  
くわえないことは  
約束しよう



あの人は  
あんなこと  
言ってたけど……

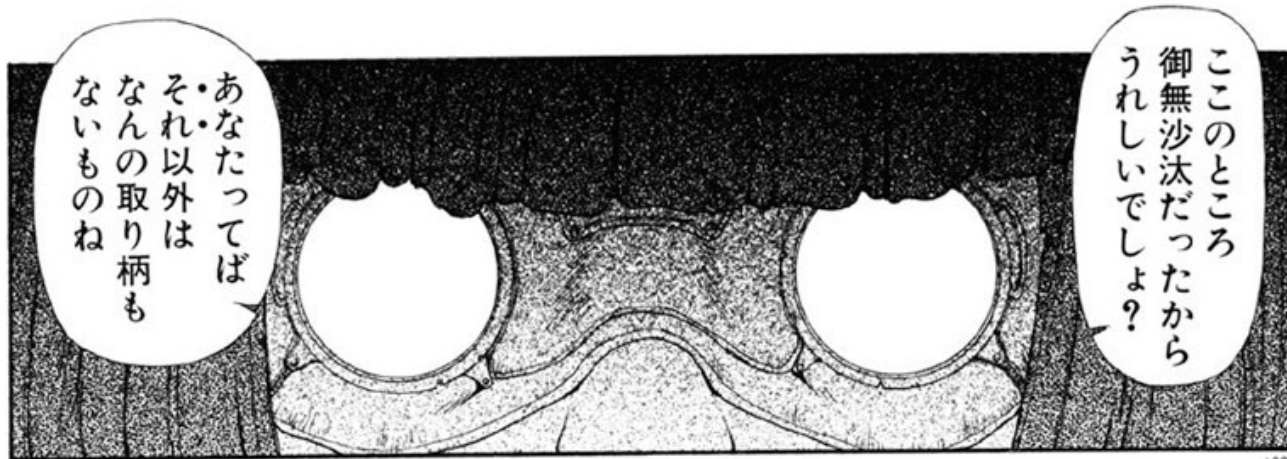
あれだけの大金を  
もらったんだもの  
何をされたって  
文句は……

# NONGLORY HEROINE(前編)

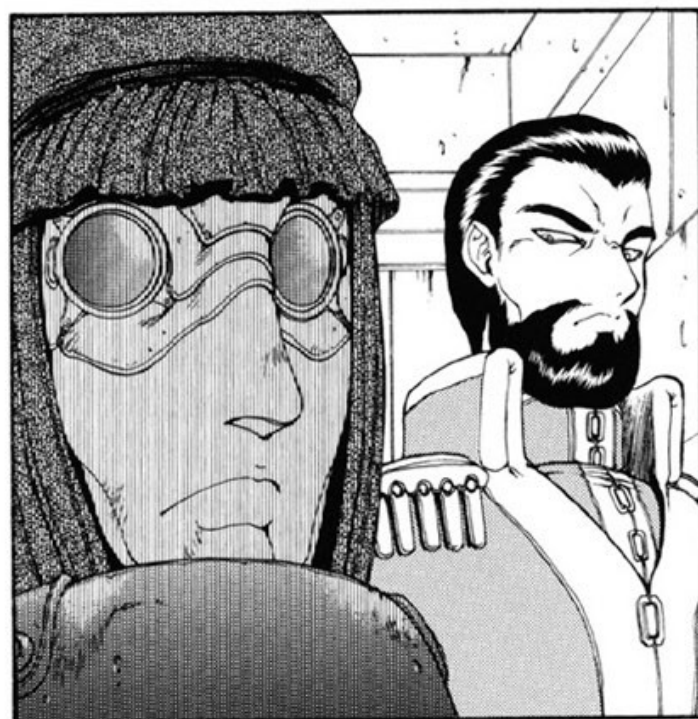








133





あ……

ああ……

あ……

フン……声まで  
あの女  
そっくりだわ

いまいましい  
……

134

ま……恨むなら  
あの女が  
王女だったことか  
……

そんな顔を  
持つて生まれた  
自分の運命を  
恨むんだな

な……なんの  
ことなんです  
いったい……  
私……こんなこと  
されるなんて  
まったく

今日からおまえは  
生まれ変わる

快楽のみを  
求め……

男に奉仕する  
ためだけに  
存在する……

あつ……

このワシの  
忠実な牝奴隷  
としてな!!

あ……あ

!!!

ククク……  
恐れることはない

ワシはおまえに至上の  
悦楽を与えてやろうと  
いうのだからな



クッククックッ…  
よーく  
似合つとるぞ

あの女に  
対する溜飲<sup>りゅうきん</sup>も  
下がっていく  
ようだわ

お…  
お願い…

からだ  
身体が…  
熱いの…  
…入れて

入れてえ…

ククク…

わかっておる  
そう  
あせるでない

あめあめ

あめ

はっ…あ

はあ

ほう…  
これはたまらん  
使い心地だ

いいぞ…  
もつともつと  
よがり狂え

それにいい声で  
なきおるわクク…  
あの女もこのような声で  
あげるであろうな

このドゥーヴの  
「香」の魔力で  
身も心も堕ちきって  
しまうがいい



このワシを  
主人として  
崇めるか？

そうすれば  
今以上の快楽も  
好きにだけ  
与えてやるぞ



な…なんで  
抜くのお

お願い!!  
もっとお……

クク…そんなに  
ワシのものが気に  
入ったのなら……



おまえは  
何も考えずに  
ただワシの命令に  
従ってればいい

あるのは  
ただ快楽のみ…  
これほど楽な生き方は  
あるまい



クク…  
答えはそう  
あせらずともよい  
まだまだ時間は  
たっぷり  
あるのだからな





はああ…  
わかりました  
なります!!

あなたの  
奴隷に  
なります!!

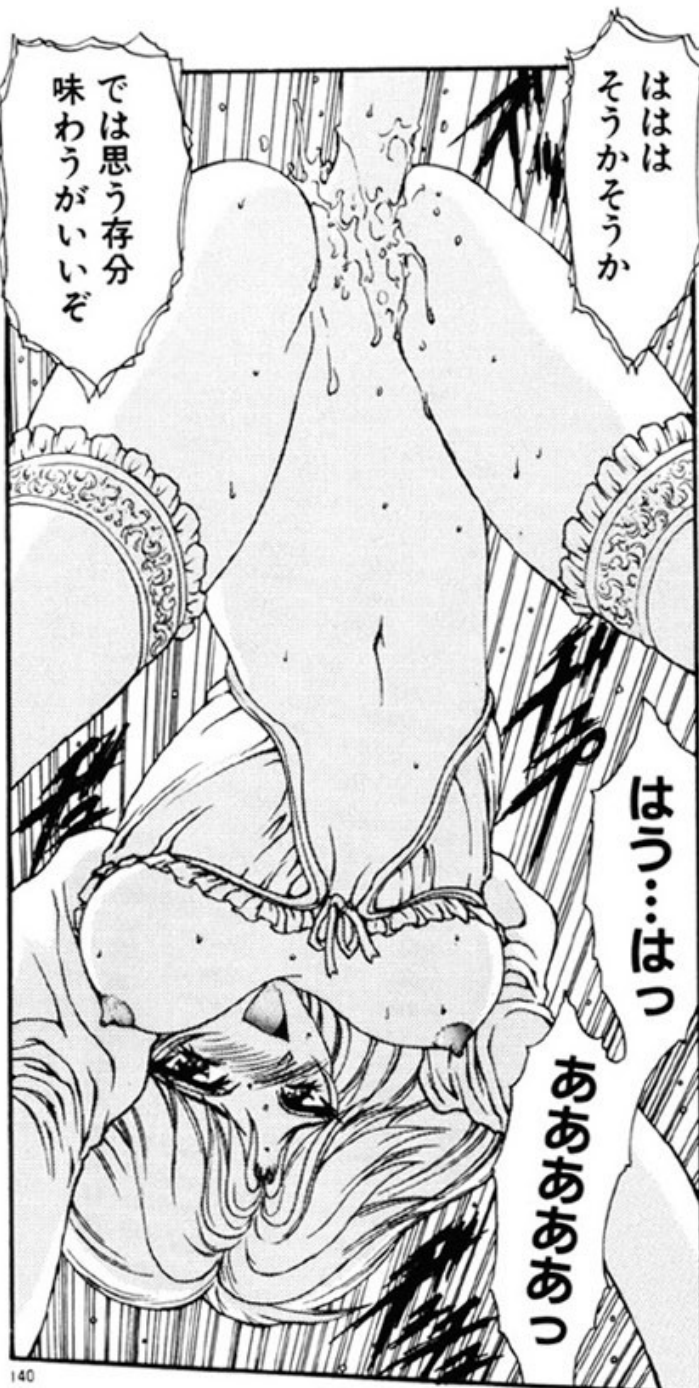


だからあ  
もっと…

もっとして!!  
して!! してえ!!!

ははは  
そうかそうか

では思う存分  
味わうがいいぞ



はっ…はっ

あめめめめ

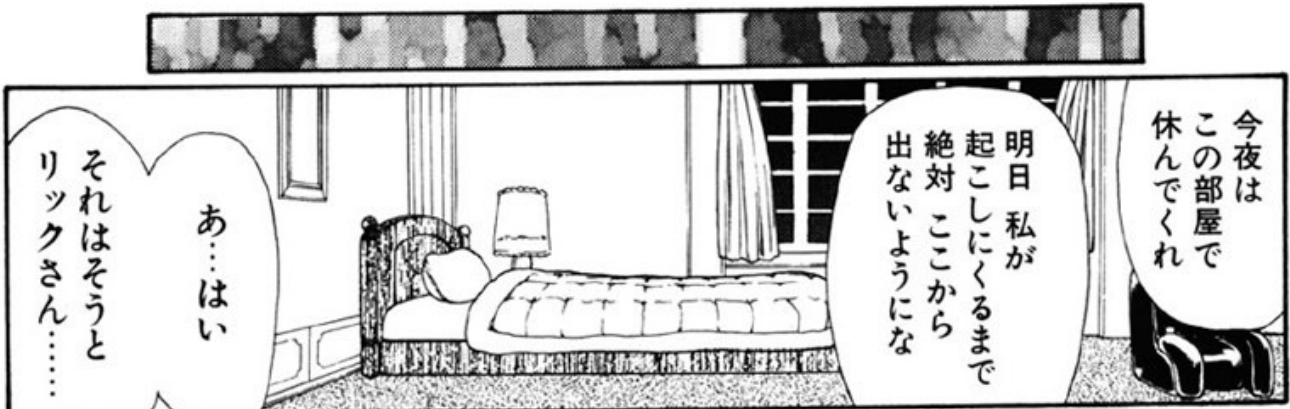
140



あっ…

あっ…あっ…

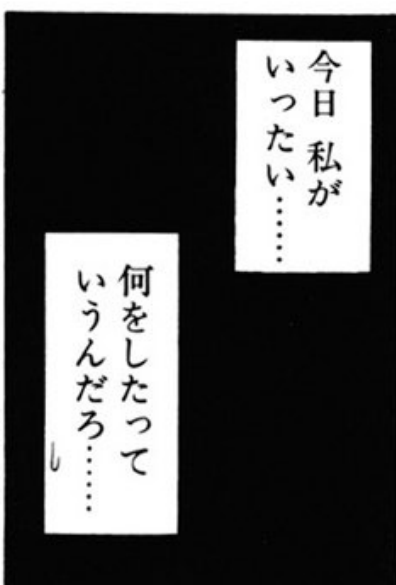
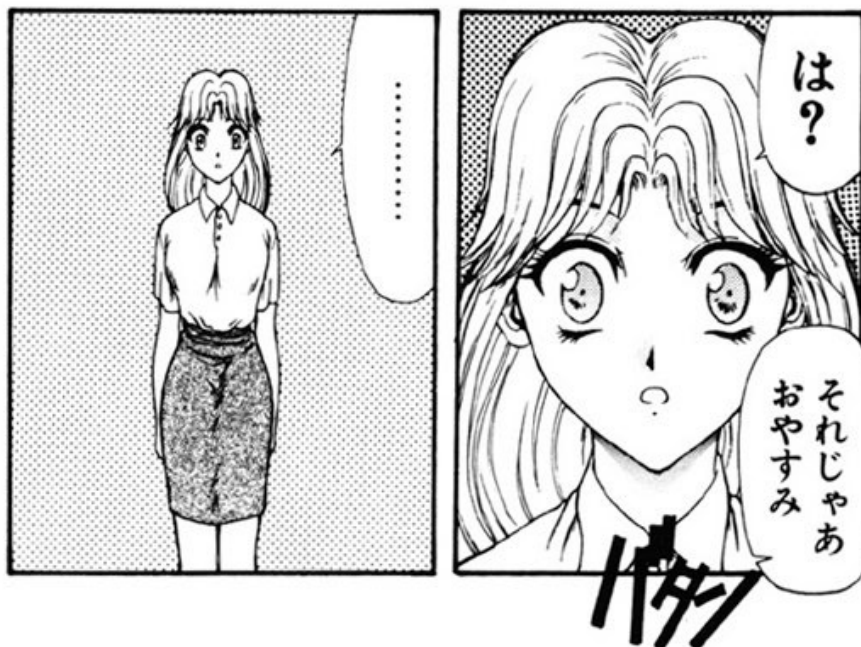
はああ——っ!!





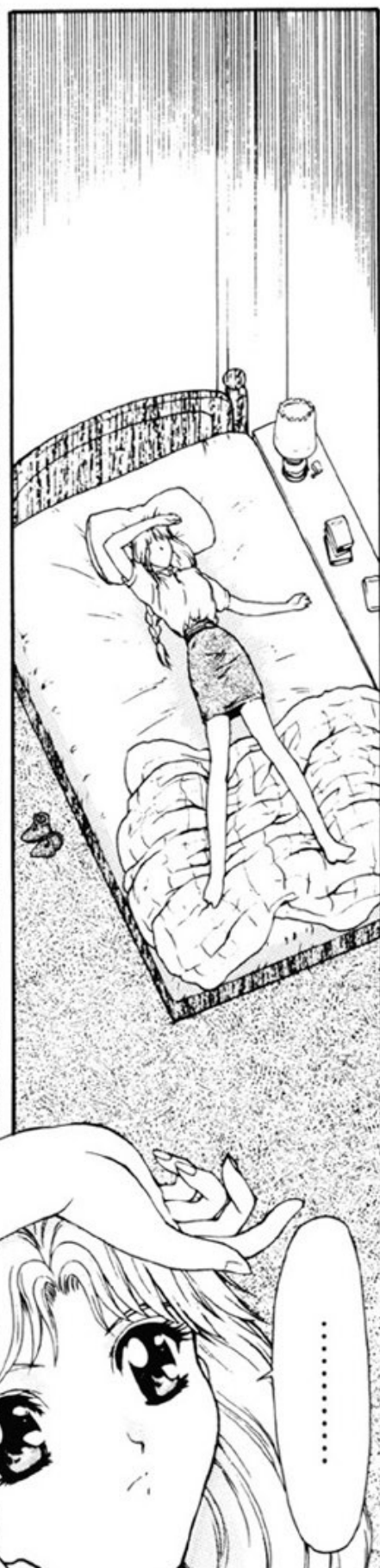
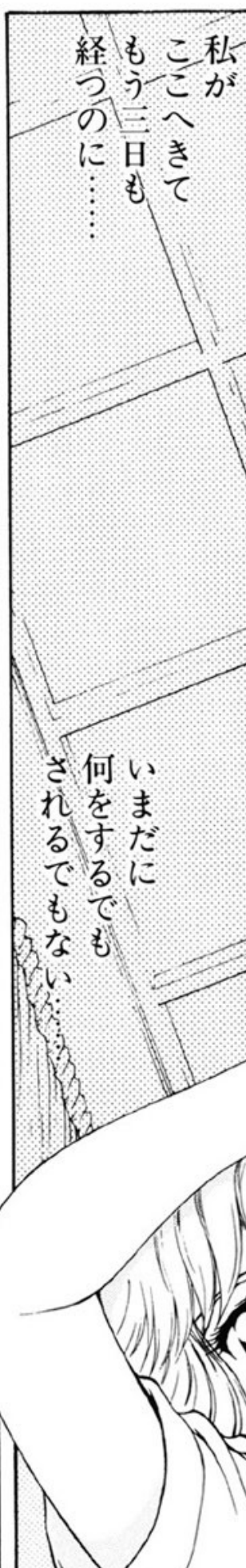


142





強いて言えば  
あのリックという人が  
出してくる……



# PRISON GAME III

# NONGLORY

# HEROINE〔後編〕





この「パーティー」の参加者はみな「地位」も「名誉」も持ち合わせている人間……

この拷問場に集められた娘達は……

言うなれば「獲物」だな

参加者達は、その「獲物」を「狩る」ことによって自らの欲望を満足させる

それがこの「パーティー」の主旨というわけだ

つまりは表向き  
・こ・う・い・っ・た・こ・と・を  
するのには許されない  
連中ばかりだ

クク……  
ではそろそろ  
入るが……

おまへの役目は  
わかってるな？  
ワシが教えたとおり  
振る舞うのだぞ



146



クク…  
混乱を避けるため  
最初に言っておきますが……

この女…じつは  
皆様よく御存知の  
ある方に  
うりふたつです

しかしけっして  
本人ではありません故…  
そのことでどうか  
取り乱されぬよう  
ご注意願いたい

何を言っているのだ  
ドゥーヴは……

うりふたつ？  
よく知っている人物？

とにかく  
さっさとそのフードを  
取らんか!!

クク……

クックックックツ





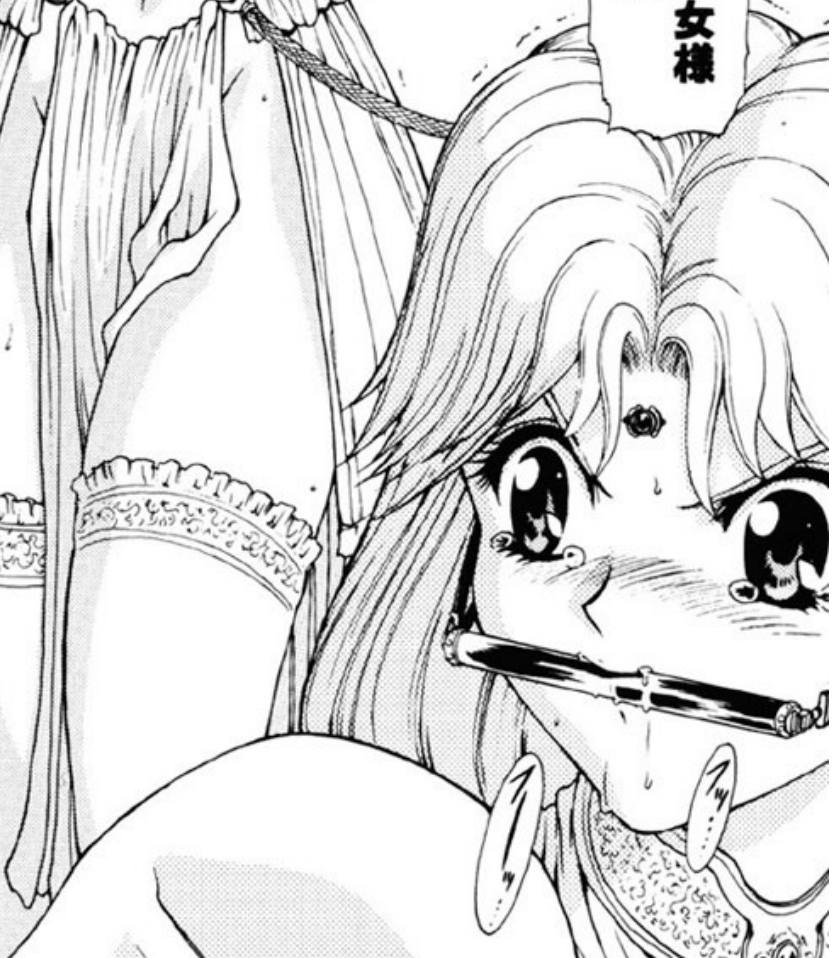
あ…あの方は  
エ……………

エステシア王女様  
ではないか!?

あ…あれが  
別人だと?……

本当なのか!?  
ドゥーヴ

信じられん  
どう見ても  
姫にしか……



# NONGLORY HEROINE〔後編〕



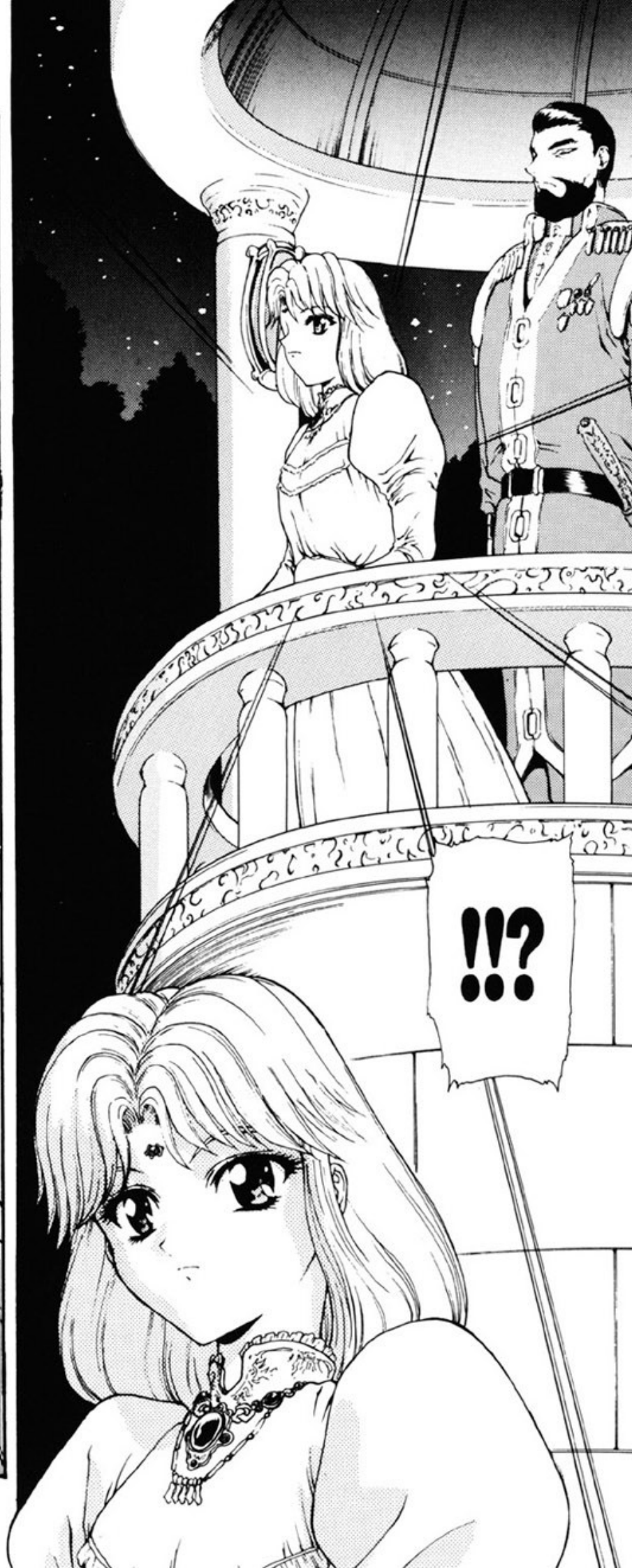


ひ…姫

エステシア王女だ

うしろに控えているのは  
ハルバドス殿…  
ということとは—

間違いない!!  
あれこそ  
本物の……



!!?



# NONGLORY HEROINE〔後編〕



み…みなさん!!

ドゥーヴの  
言うことなど信用  
してはいけません!!

151



へへ…  
確かにな……

こいつは  
楽しめそうだ

おもしろい趣向だぞ  
ドゥーヴ……

あ……

ああ……あ……



!?

ククク…  
このとおり調教の方も  
完璧ですの……

皆様にはより一層  
楽しんでいただけると  
思います



わ…私が本物の  
エステシアです!!

そのくらい見て  
わからないのですか!?

あそこにいる者こそ  
真つ赤なニセ者…  
エステシアは私なんです!!



やめなさい!!

やめっ……

ズズズ

クククク……

それにしても  
ドゥーヴの調教は  
たいしたものだ

まったくですな  
これはもう  
うりふたつというより  
姫ご本人だ

クク……ですから  
この方は  
姫なのでしょう?

何しろご自身で  
そうおっしゃって  
いるわけですし

おっと……  
そういえば  
そうでしたな

自分達が今  
何をしているのか  
わかって  
いるのですか!?







155





いい出しっぶり  
でしたな 姫

ハハハハハ

こいつはすげー

156



いやあ…  
めったに見れるものでは  
ありませんぞ  
姫のこんなお姿は…  
ワクワク



!?

さあ 姫  
後始末の方も  
お願いいたしますよ



みつ……

見ないでえええええっ!!!





おお……

信じられん  
本当に  
舐めておるぞ

ヒヒヒヒ……



それにしても  
まんざら  
いやそうにも  
見えませんが……

姫も案外  
喜んでらつしやるの  
かもしれませんな

はははっ  
そいつはいい

この国の王女様は  
じつはとんでもない  
変態だった  
というわけですな

ヒヒ……

ハハハハハハ

ククク……

ハア





159





ああ…  
そ…注いで!!

おなが  
はちぎれるくらい  
思いつきり……

穴という穴から  
流し込んでえ!!

よ…汚すの!!  
私を汚すのよ!!

中も…外も…身体中  
すみからすみまで  
まんべんなく…!!

あああああ

あ…あぶっ

あはっ

はあっ…あっはあ——っ！





今思い出しても  
.....

私があの人にとって  
なんの役に立っていた  
のかは見当もつきません



結局 私は  
何ひとつ 事情を  
説明されないまま  
.....

あの次の日  
家へ帰して  
もらいました



あの..  
リックさん

これにはいったい  
どんな意味が  
あるんですか？

何度も  
言わせないでくれ

質問には一切  
答えられん



さ...みんな..  
そろそろ  
行くわよ



# NONGLORY HEROINE(後編)



何も知らん方が  
君のためだ

家へは明日帰してやる…  
そうしたらここでのことは  
夢でも見たと思って  
忘れるんだな

は…  
はい……

そう…ね…………



そもそも  
ここへきてからの  
数日間……

やれと言われたのは  
どれもわけの  
わからないこと  
ばかり……

何か説明くらい  
してくれたって……



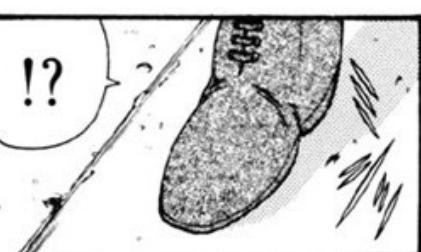
でも…  
こんなドレスを着て  
ここにこうしてる  
だけで……

何かの役に立ってるとは  
とても思えないんですけど  
…………

あそこでのことは  
もう忘れよ

あの人に  
言われたとおり  
夢でも見たと  
思っ……

ただいま――



か……母さん  
まだ寝てなきや  
だめじゃない!!

食事の支度なら  
私が……

大丈夫だよ  
ミリィ……

最近  
もうすっかり  
胸のつかえも  
とれてねえ……

もうすぐ  
羊の世話だって  
またできるよう  
なるよ

さ……  
用意できたから  
手を洗っておいで

――ううん……

やっぱりあれは  
夢だったなんて  
思っちゃいけないな  
……

——だって  
もしあの数日間が  
夢だったとしたら……

今のこの瞬間だって  
夢のつづきってことに  
なっちゃうもの——

ほう……あの娘が  
そのようなことを  
……

ああ……  
これから  
時々頼むぞ

しかし次の  
「パーティ」までには  
まだ間がありますし  
……

第一 あなた様は  
お使いにならないの  
ですか？

かまわんよ  
俺もしばらくは  
忙しいんでな

そうですか  
ならば  
遠慮なく……

ギイ





# NOBLE MERCHANDISE〔前編〕

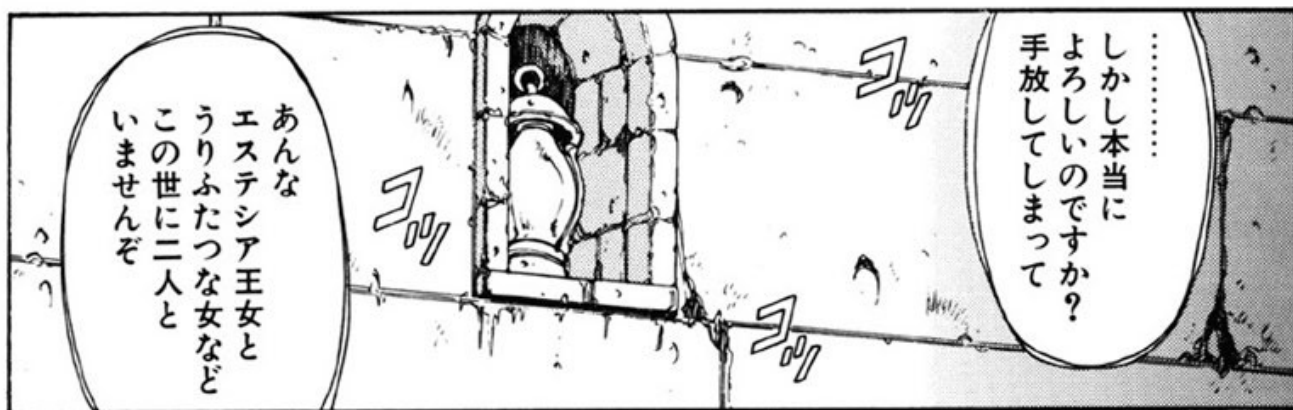








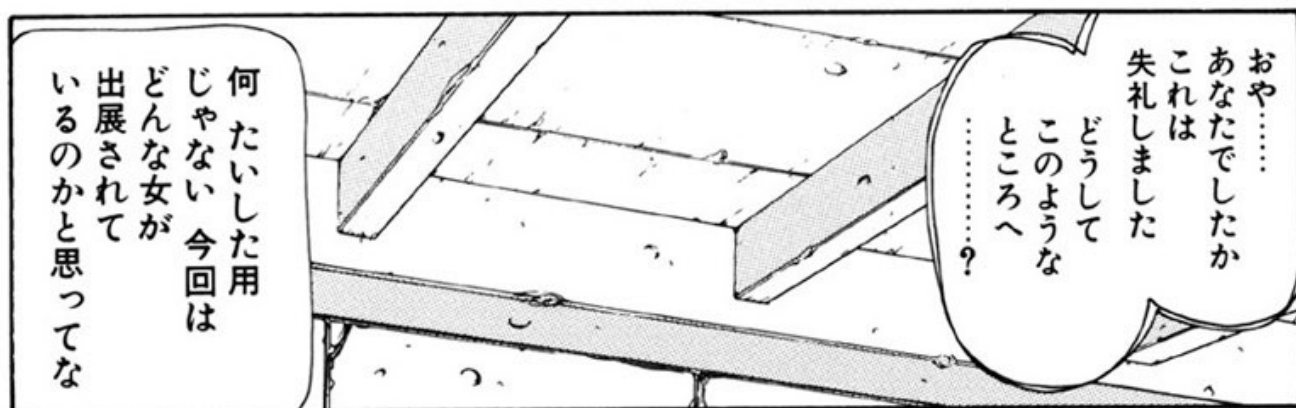
PRISON GAME IV  
**NOBLE  
MERCHANDISE**  
〔前編〕



# NOBLE MERCHANDISE(前編)







# NOBLE MERCHANDISE [前編]

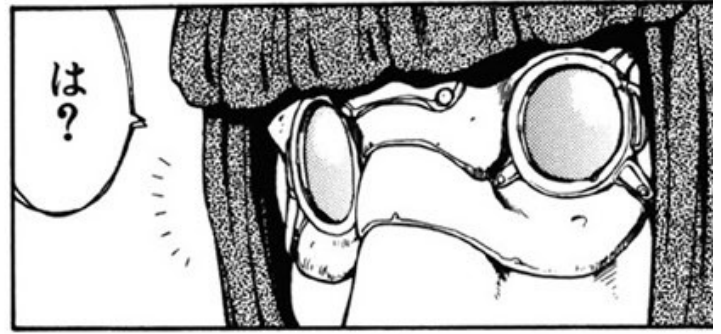


173









この娘を  
オークションに  
かける必要はない!!

今この場で  
俺が買い受ける!!

いいな!?  
ドウーヴ

わ……

わかり  
ました



175





176





# NOBLE MERCHANDISE〔前編〕

これで  
契約成立です

ギッ

たった今  
この娘の所有権は  
あなたに  
譲渡されました

さあ…

どうぞ  
お持ち帰りに  
なって下さい







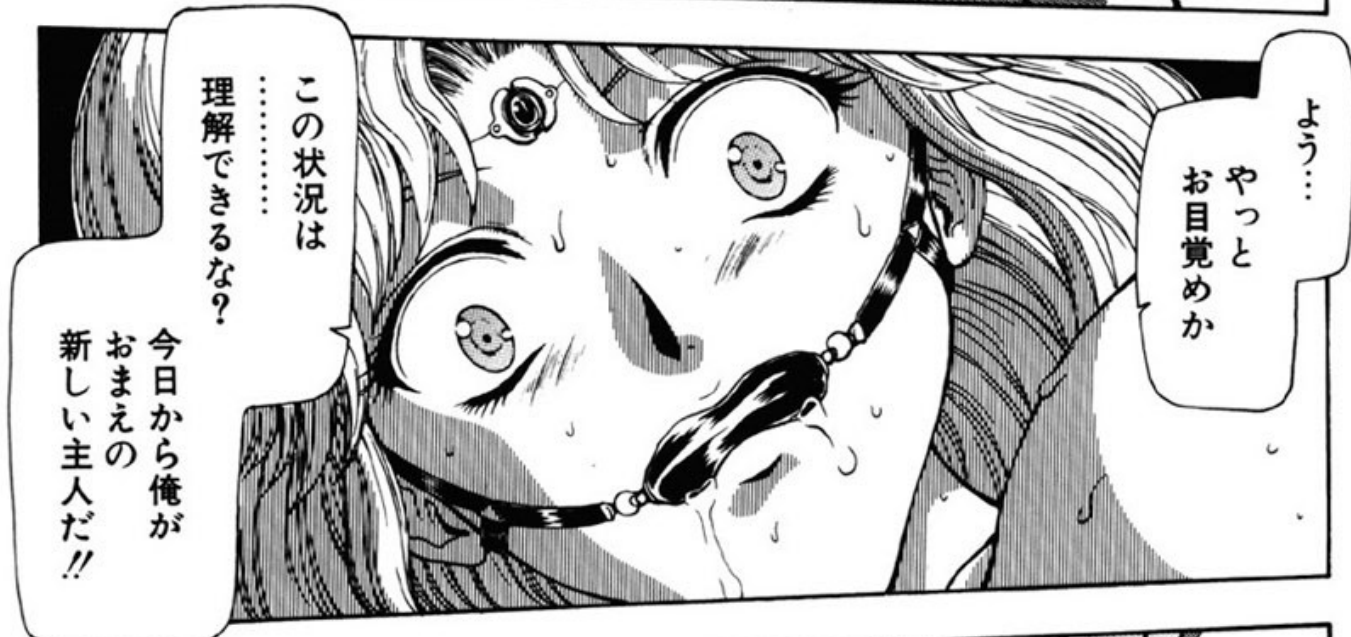






181





んっ……ん……



んん

っ!!!

さて……  
次に紹介  
いたしますのは

皆様も恐らく  
よく御存知の  
名門ハイマン家の  
一人娘……

……

ええい!!  
まったく……

姫は  
いつになったら  
出てくるのだ!?







185





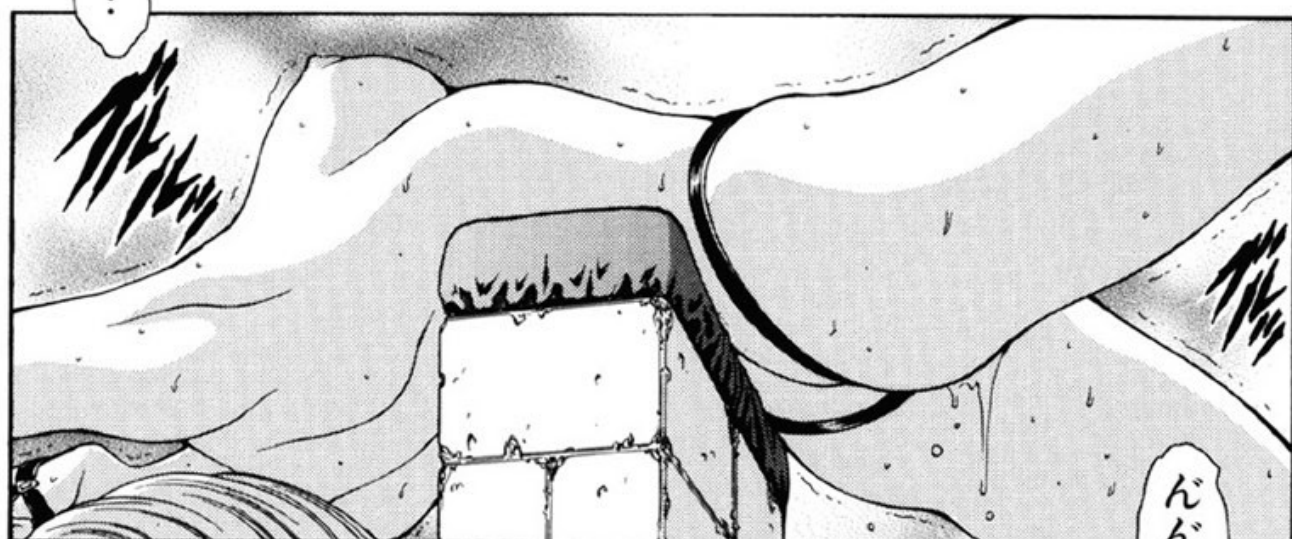
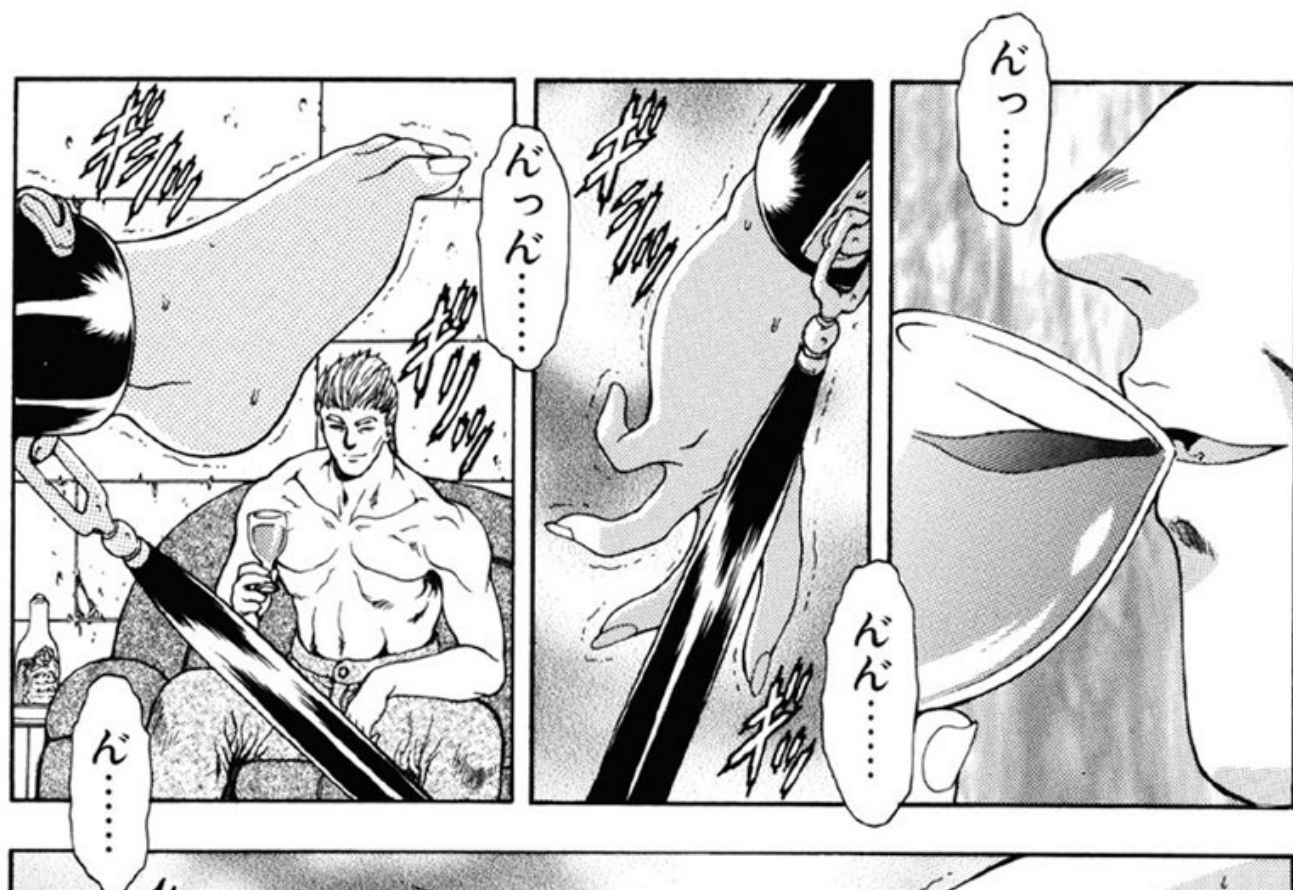


PRISON GAME IV

# NOBLE MERCHANDISE

〔中編〕





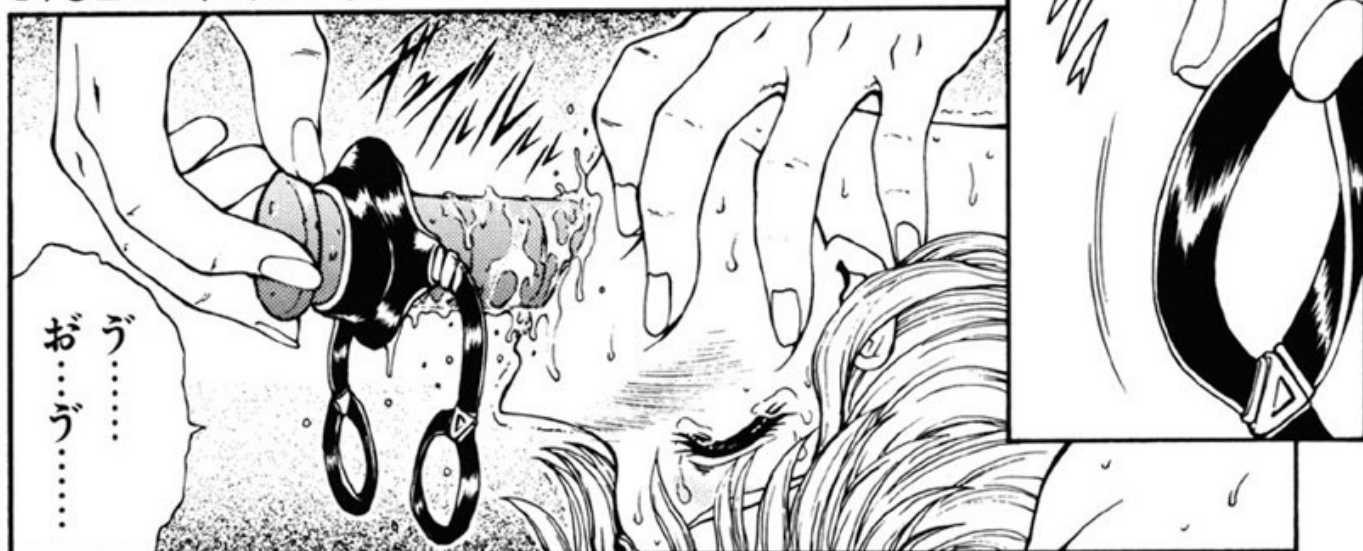






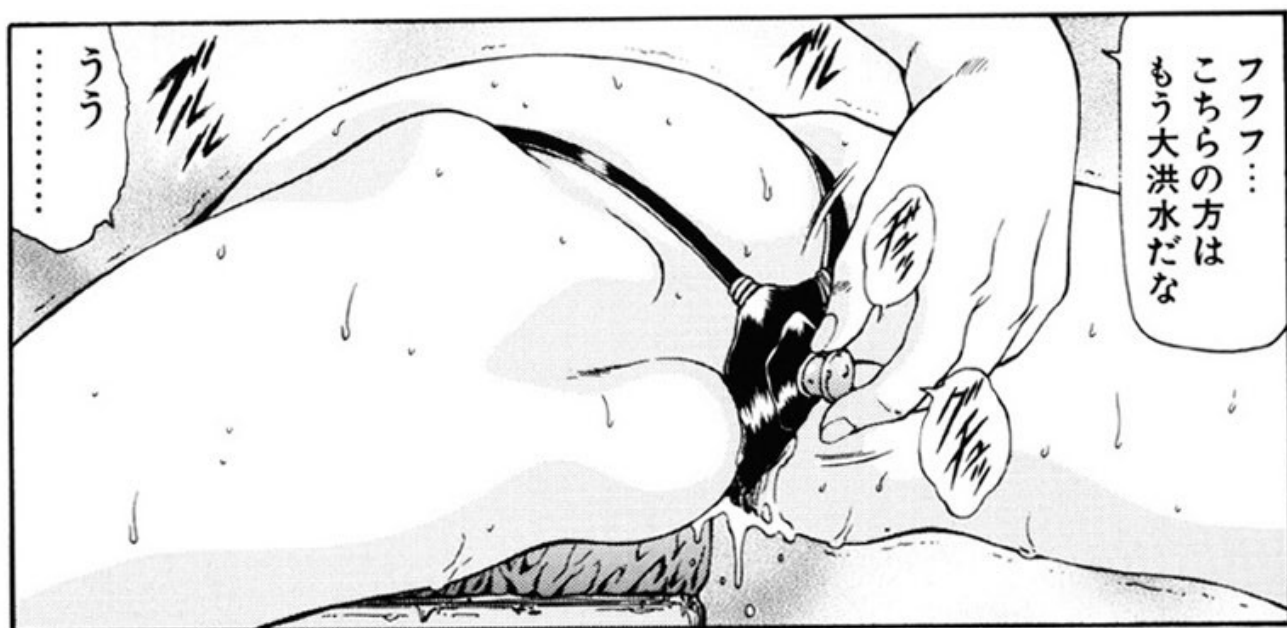


# NOBLE MERCHANDISE〔中編〕



191

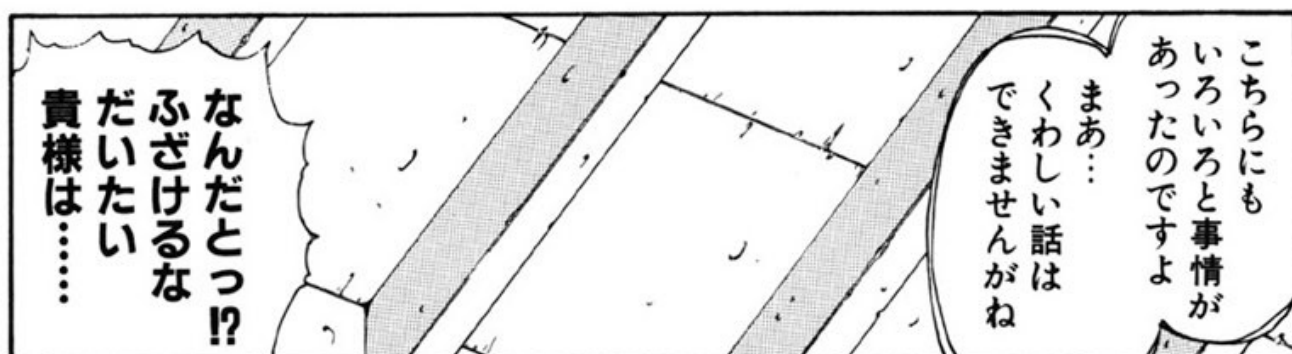




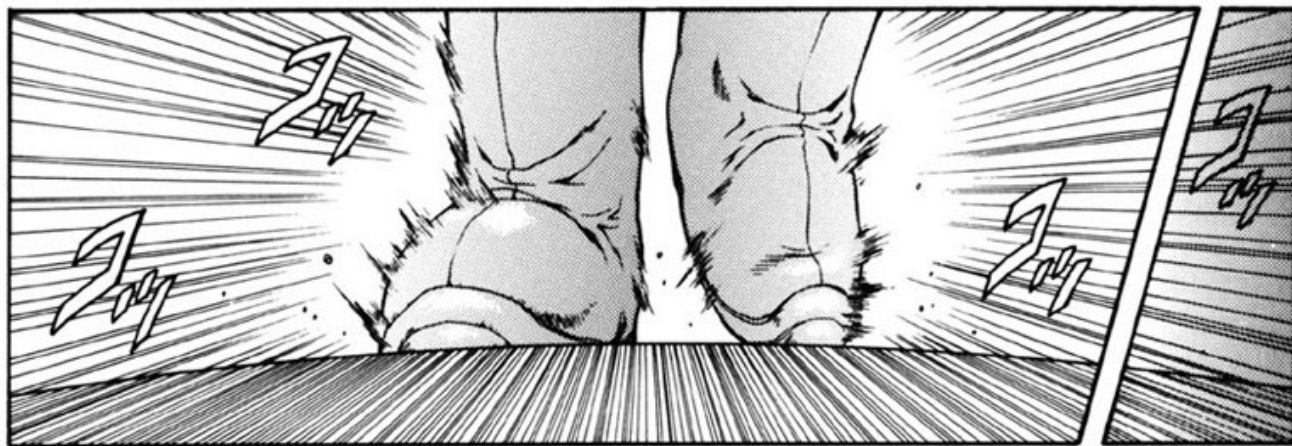


# NOBLE MERCHANDISE〔中編〕





# NOBLE MERCHANDISE〔中編〕

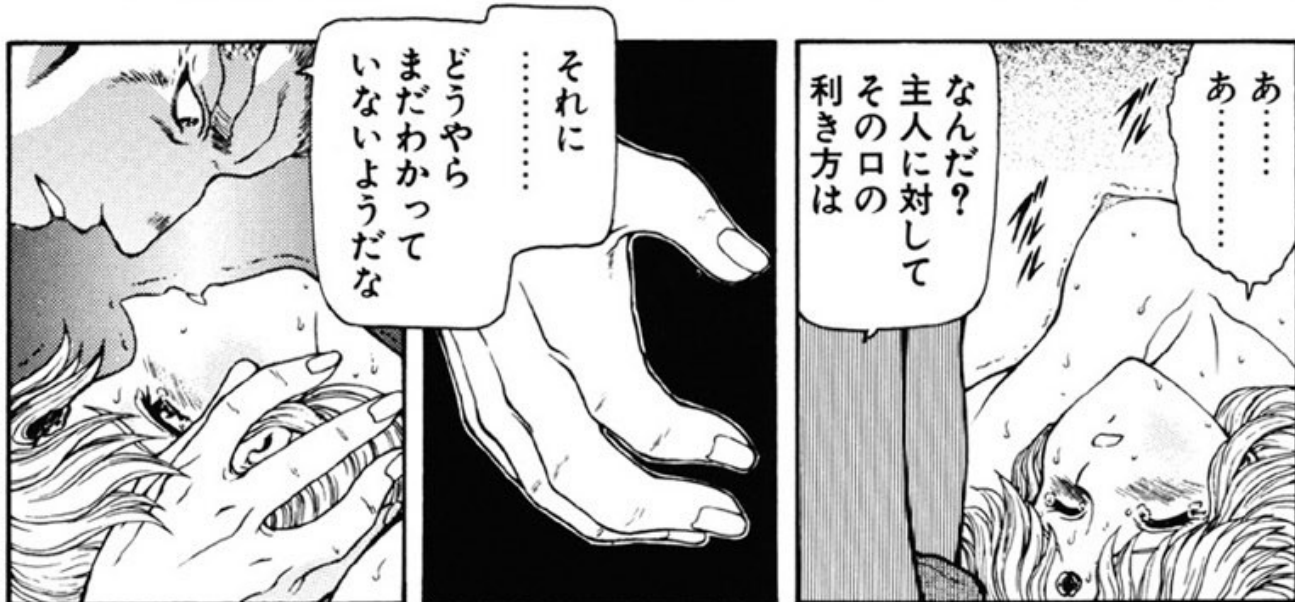
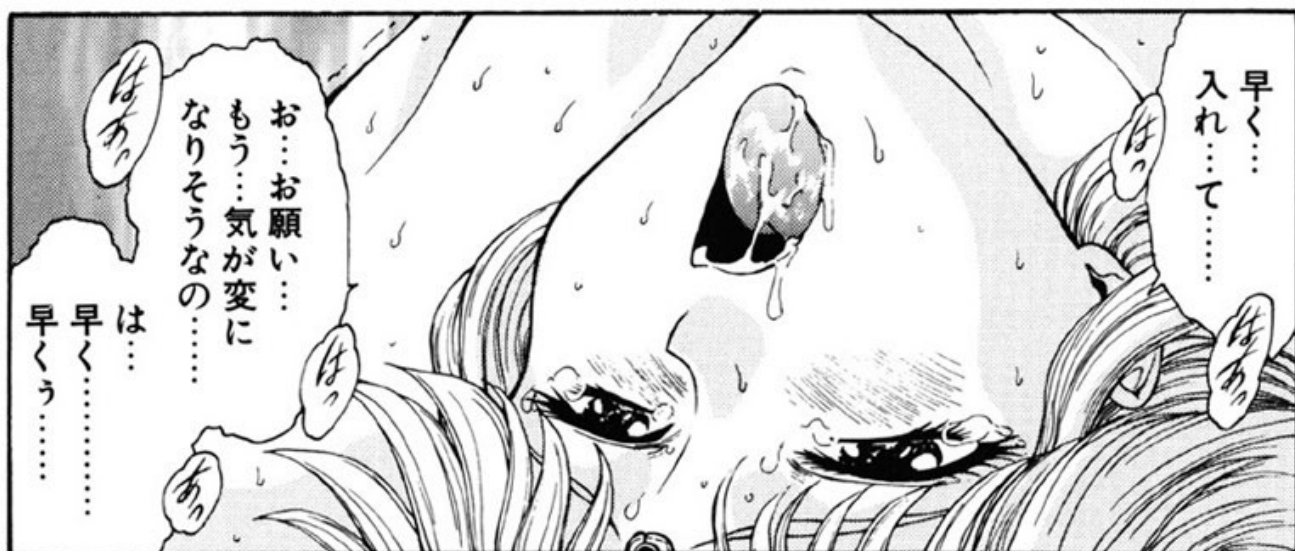






# NOBLE MERCHANDISE〔中編〕

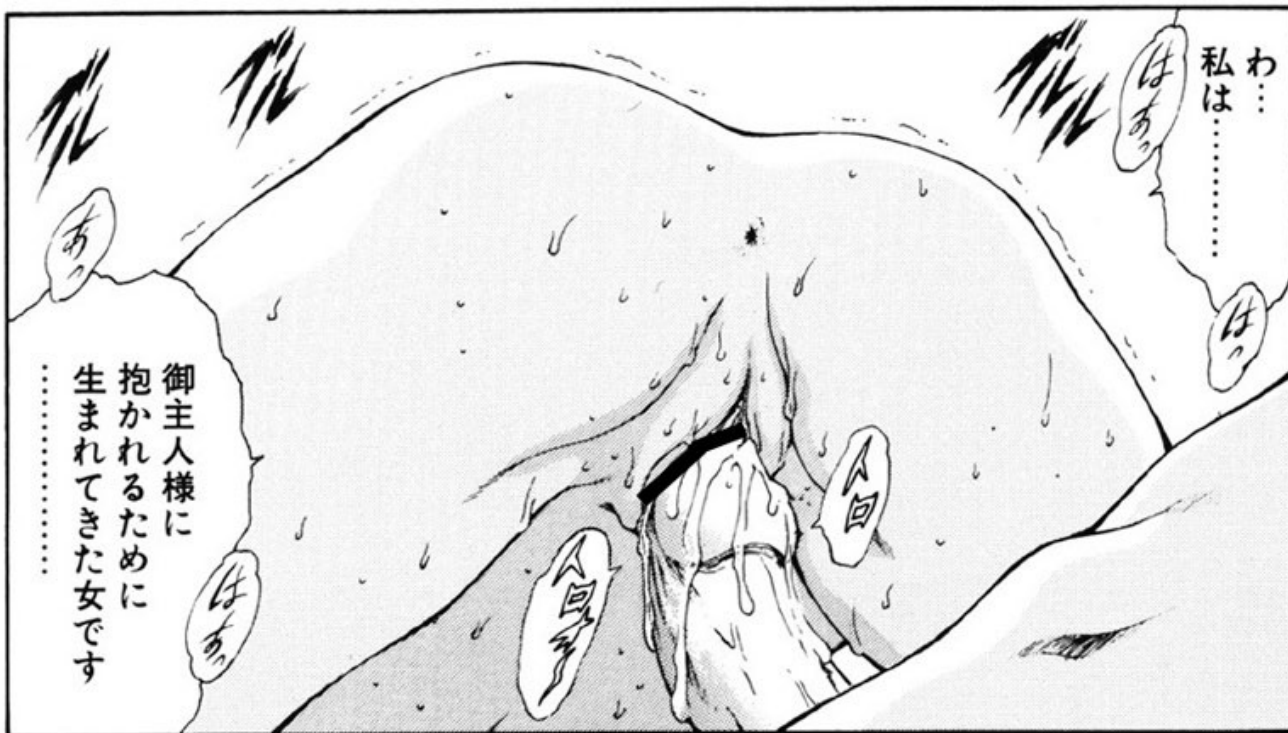






# NOBLE MERCHANDISE〔中編〕







クク…なんだ  
入れただけで  
いったのか

だが…まだまだ  
こんなモノじゃ  
満足できない  
だろう？

言うことをきいた  
ごほうびだ……

今からは思う存分  
楽しませてやるぞ









203







204

フフ…  
そうだろう



俺の言うことさえ  
きいていれば  
……………

さらに至上の  
快樂をおまえに  
与えてやるぞ



どうだ？  
今までの苦痛が  
すべて快樂に  
変わっていく気分は

は…はい…  
初めてです  
こんなにすごい  
初めてですう……



ほ…本当  
………  
本当ですか？



ああ…本当だとも  
ただし  
それには……

は…はい……  
あなたの言うことは  
なんでもききます

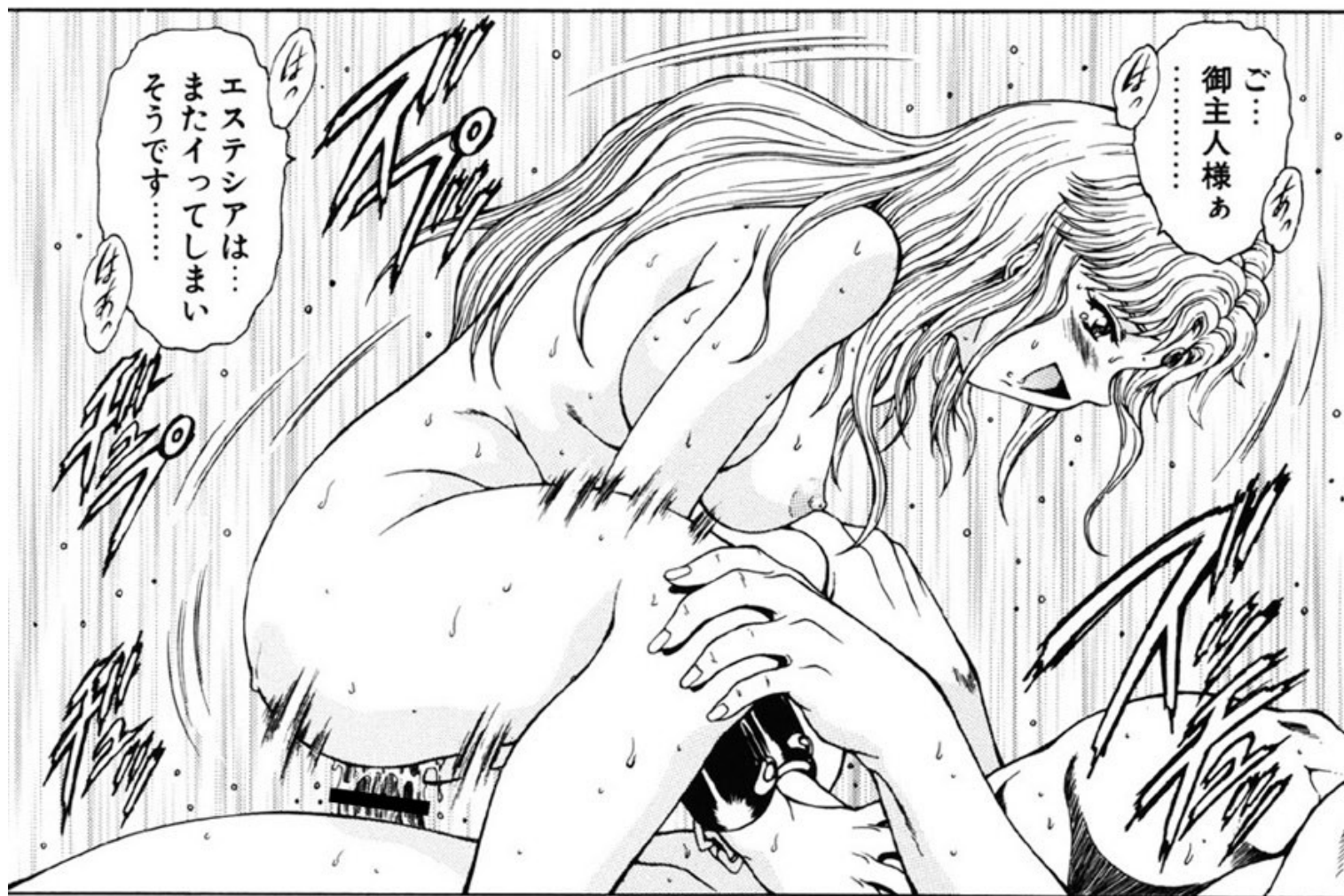
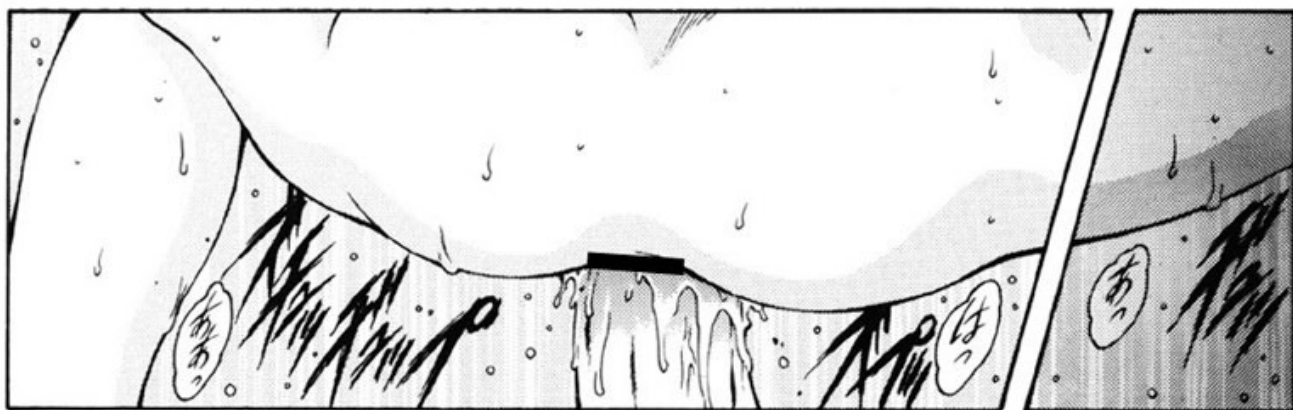


あなたには  
決して  
逆りません

すべて御主人様に  
捧げることが  
誓います

私の身も心も  
何もかも……





ご……  
御主人様あ

エステシアは……  
またイってしまい  
そうです……



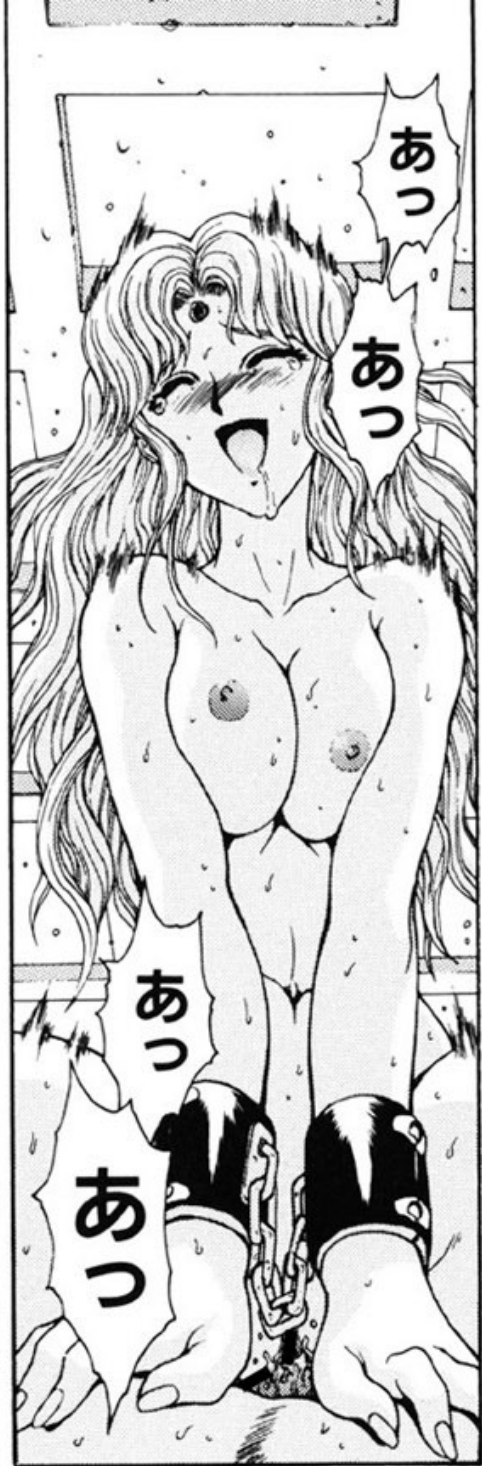
あ……ありがとうございます……

は……はい



そうか……では  
俺が射精すると同時に  
イっていいぞ

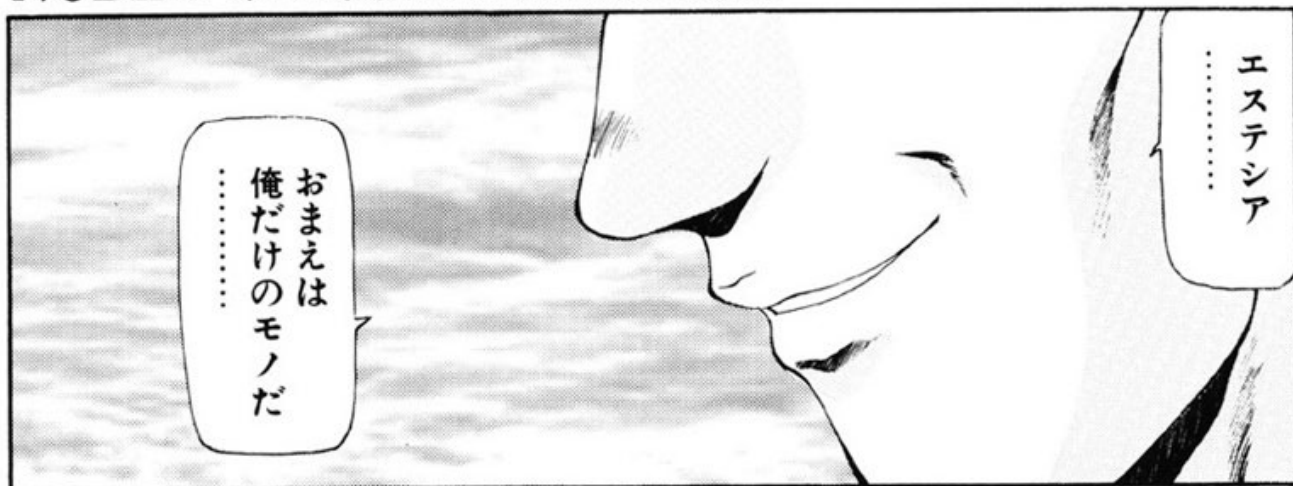
だが忘れるなよ  
こんなに  
甘やかすのは  
今日で最後だからな



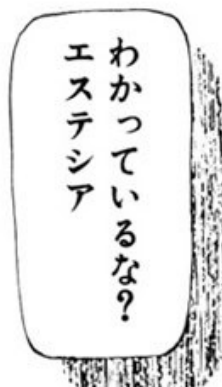
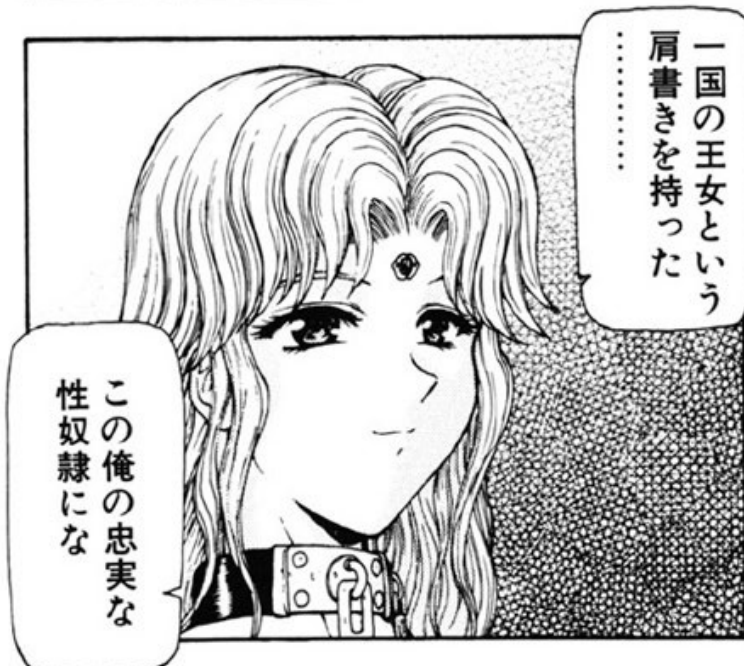


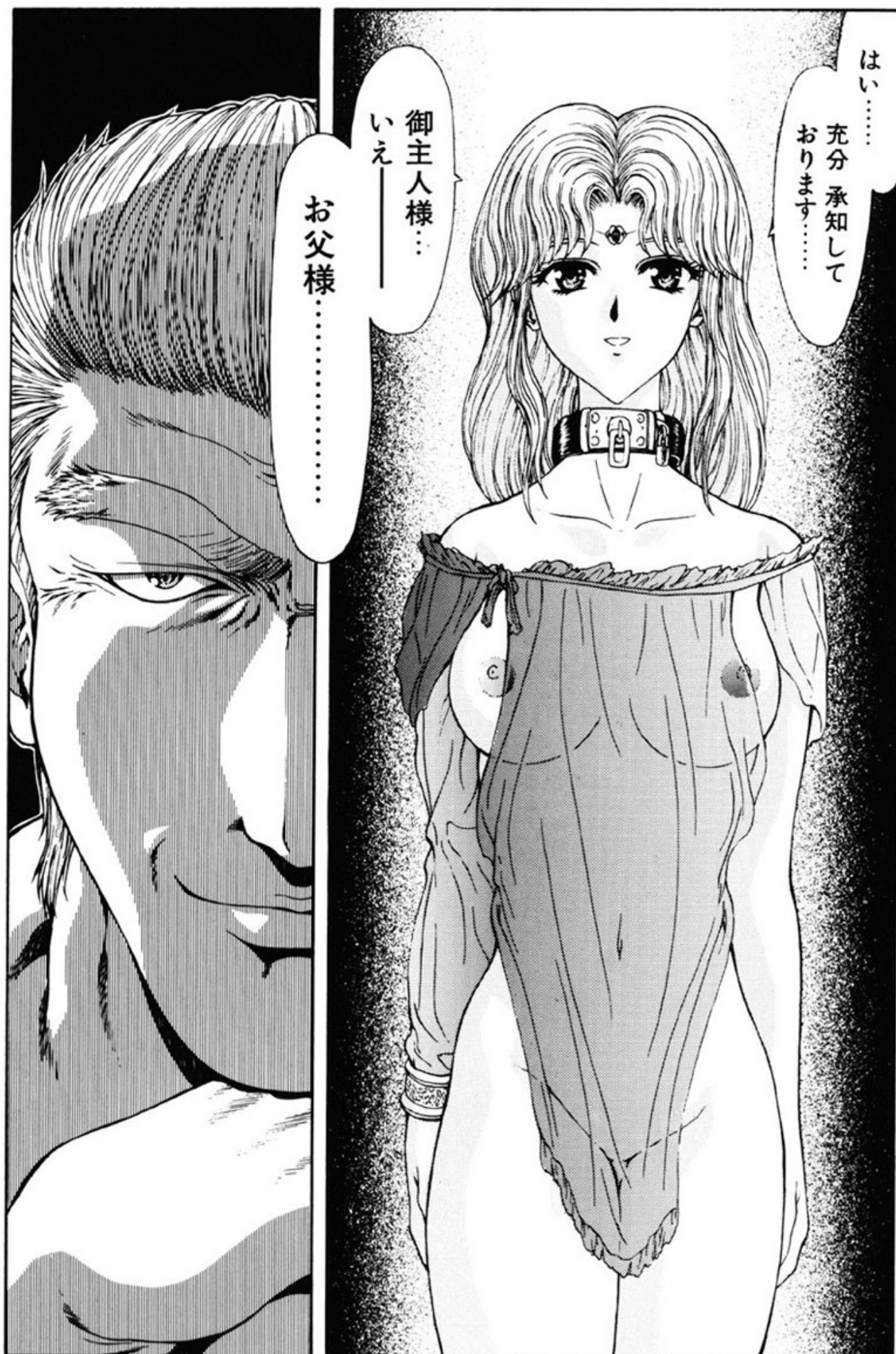


# NOBLE MERCHANDISE〔後編〕



209





はい……  
充分承知して  
おります……

御主人様……  
いえ――

お父様……



PRISON GAME IV

NOBLE

MERCHANDISE

〔後編〕







213





クク…なんだ？  
エステシア その  
うれしそうな顔は

これは  
言うことをちゃんと  
きかなかった  
おまえへの罰なのだぞ

まさか  
おまえ……

仕置きされることを  
望んでわざと俺に  
逆らっているんじゃない  
あるまいな？

214

ああ……あ……

ああ……ち……  
違います……

それは……  
誤解です……  
御主人様……

フン……では  
このしこりきった  
乳首はなんだ？  
………ん？

はっあつ

ああつ

いいか……  
よく聞け

たしかにおまえは  
見・て・く・れ・だ・け・な・ら  
エステシア  
そのものだ

だが……  
それだけでは  
ダメだ

それだけでこの俺を  
満足させることは  
できない……

215

おまえは  
俺のために……  
俺のためだけの  
エステシアに  
生まれ変わらなくては  
ならない

あうっ……  
あうあう

そのためには  
……

おまえは  
俺が教えることを  
完璧に実践する  
必要があるんだ

ああ……  
お……お許し下さい  
御主人様……

ちゃんと  
やります……  
御主人様の  
おっしゃるとおりに  
します……

そうだ……  
それでいい  
では次の教育を  
始めるぞ……

フフ…  
見れば見るほど  
すばらしいよ  
おまえは……



見た目だけなら  
いまだにこの俺でさえ  
本物と違うところが  
見つけれんの  
だから……

まったく  
あいつときたら…  
子供の頃から  
俺の言うことなど  
一切聞かず……

武芸の鍛練ばかりに  
熱を入れて…  
王室としての礼節など  
まったく学ぼうとしない

あげくの果てには  
俺がつけてやった  
護衛の兵をすべて  
たたきのめして……

近衛隊長である  
ハルバドスを  
ひっぱり出して  
連れまわしている  
始末だ

だが……

中身の方は  
大違いだ

だが…おまえは  
あいつとは違う  
そうだな？  
エステシアよ

……はい





も…申しわけ  
ありま……

はああつ

ゆ…許して…  
…下さい…

ご…  
御主人…様

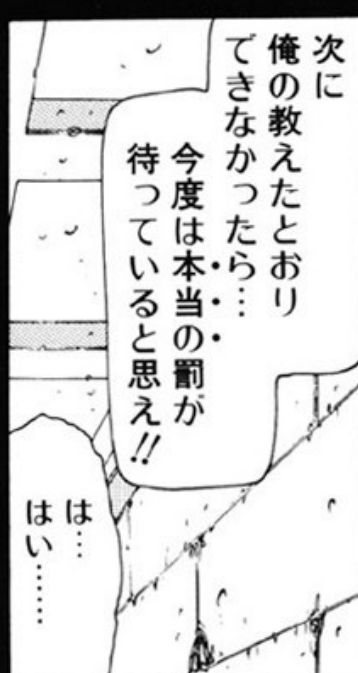


こ…  
今度こそ…  
今度こそ  
ちゃんと  
やりますから……



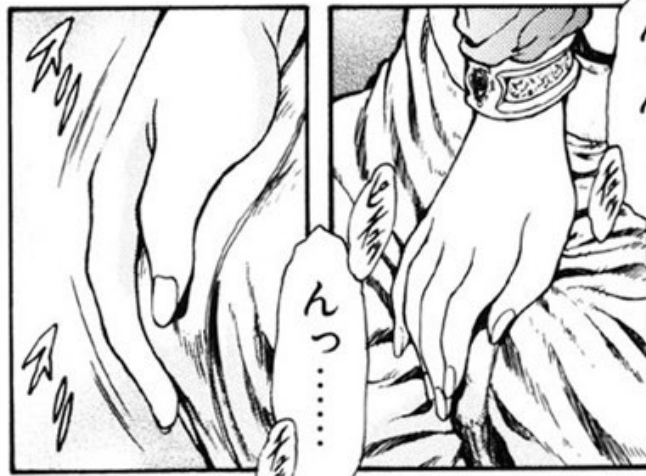
フン…  
もうそのセリフは  
聞き飽きたが……

まあいい…  
悪ふざけも  
そろそろ終わりに  
してもらおうぞ



次に  
俺の教えたとおり  
できなかつたら…  
今度は本当の罰が  
待っていると思え!!

はい…  
はい……

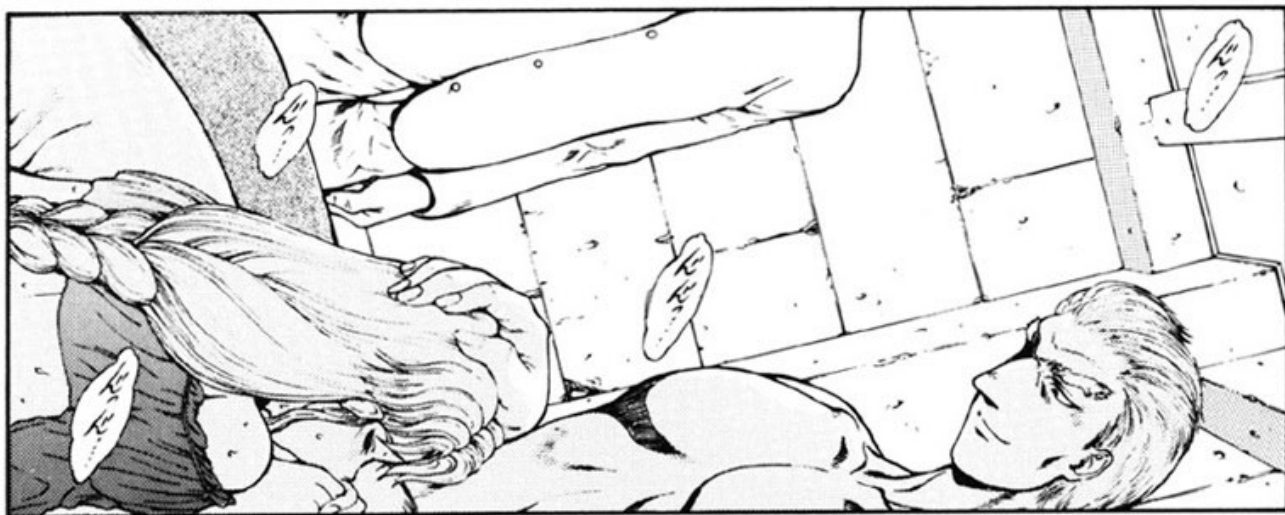




219







フフ…なんだ？  
その顔は…  
まだ見慣れんのか？

おまえに  
世話をまかせて  
もう一週間も経つ  
というのに…

は…はい……  
も…申しわけ  
ございません……

いかに御本人では  
ないとはいえもし  
このようなことが  
公になれば……

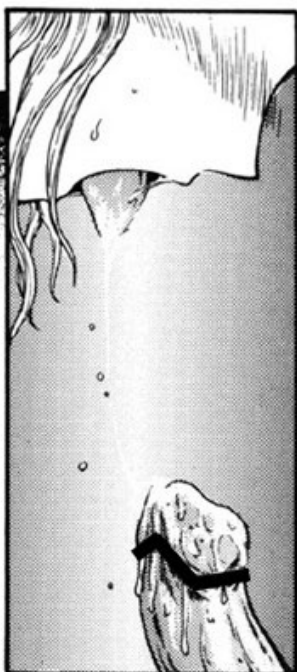
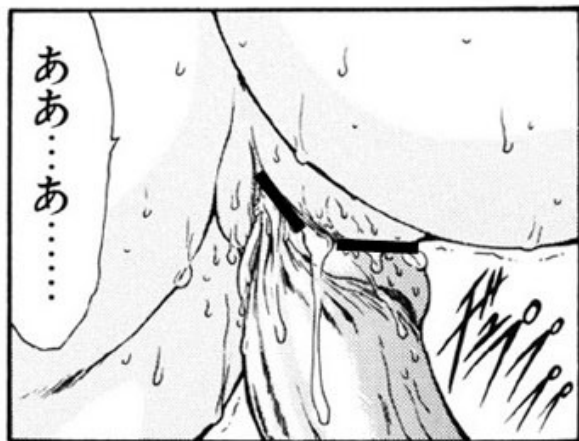
おまえが「エステシア」と  
一緒にいる分には  
誰も不審には  
思わんだろうからな

まあ…  
無理もないか  
何しろおまえは  
本人とも毎日顔を  
合わせているのだからな

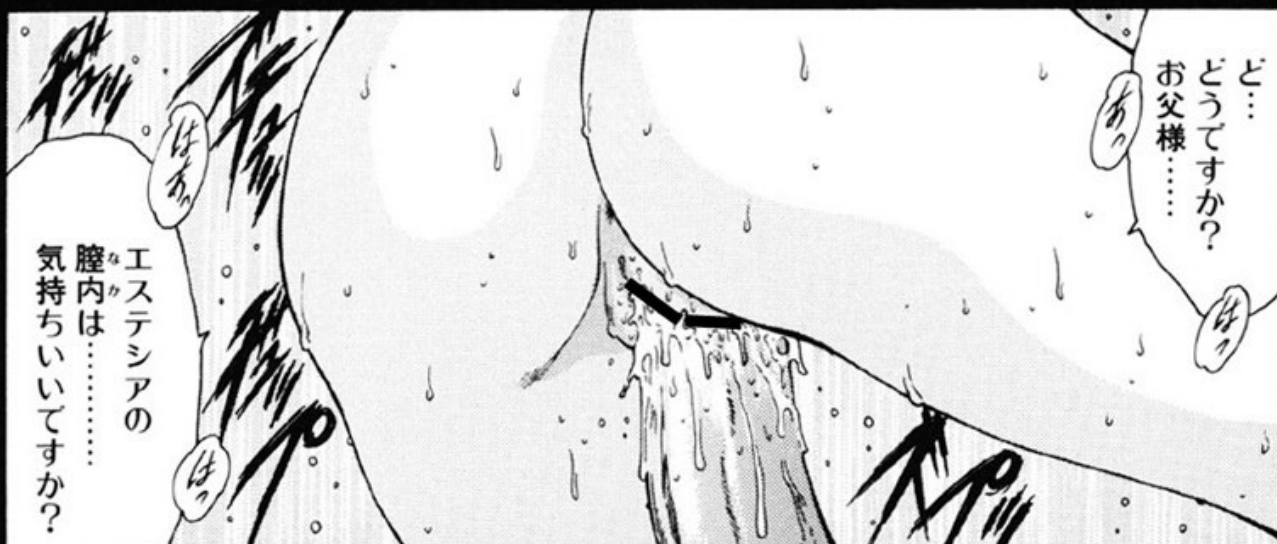
せ…僭越ながら陛下…  
もうそろそろ  
御自重なさっては  
いかがでしょうか…？

フフ…  
そうならんように  
わざわざおまえに  
世話をさせて  
いるのではないか

は…はあ  
………







ど…  
どうですか？  
お父様……

エステシアの  
膺内は……  
気持ちいいですか？

223



て……ですから  
もつともつと……

エステシアを  
かわいがって  
下さいませ



い……今までずっと……  
わがままばかり  
言ってきた  
ごめんなさい……

これから  
いい娘になります  
お父様の言うことには  
ちゃんと従います……



さ……さあ  
……

お願いします  
……お父様……

思う存分  
注ぎ込んで下さい

はっ  
エステシアの  
膣内を…  
お父様の精液で  
満たして下さい

あ…  
愛しています

はっ  
愛して  
います…

# NOBLE MERCHANDISE〔後編〕



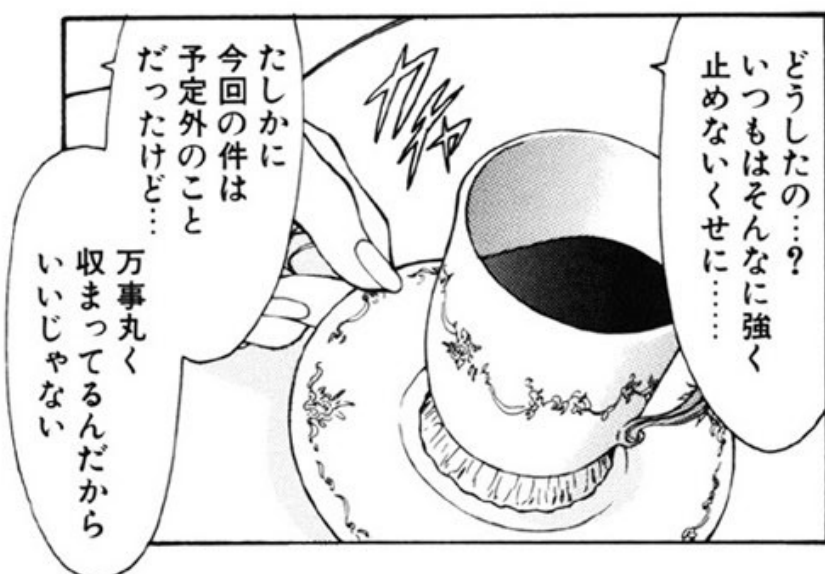
225

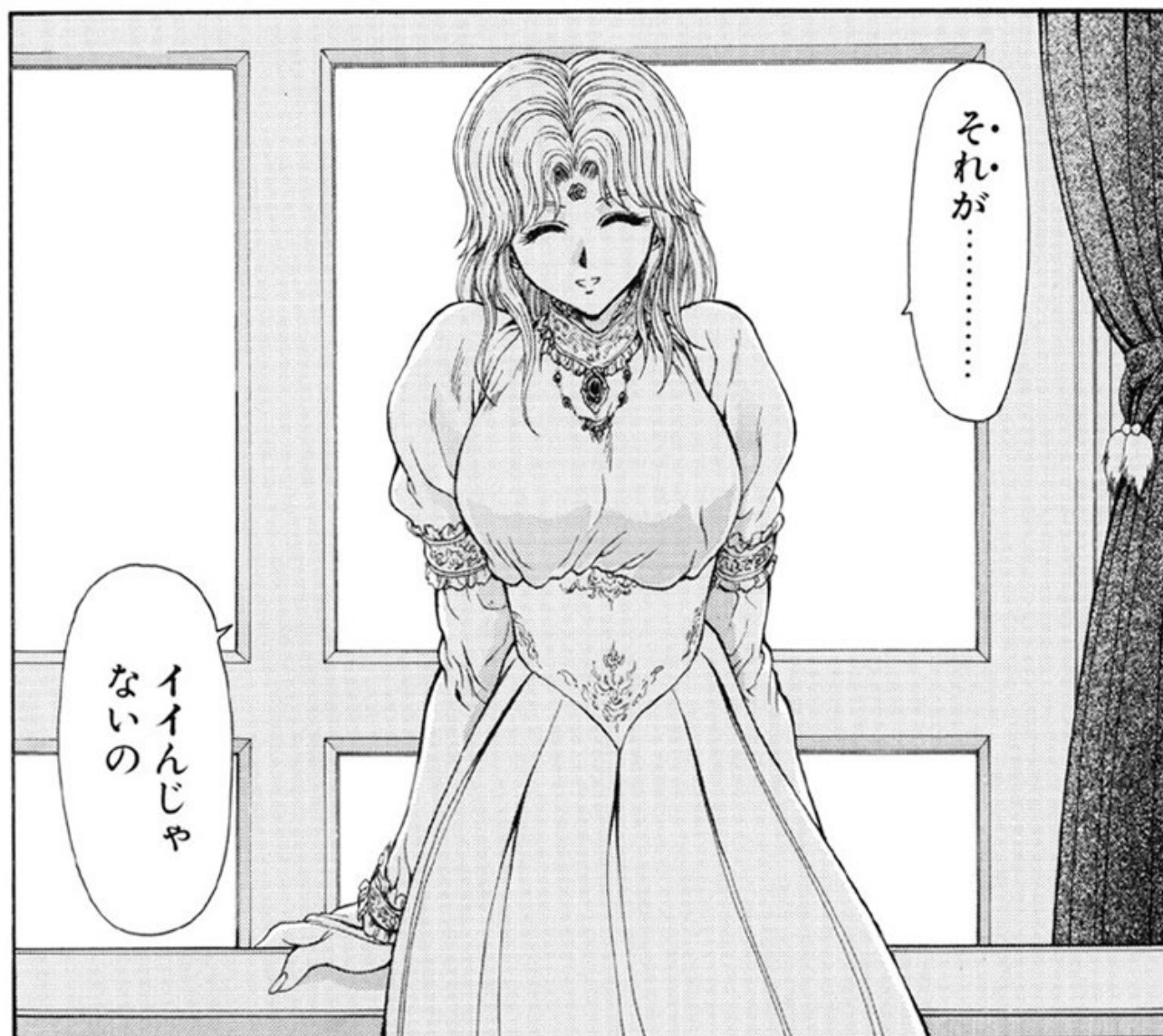






# NOBLE MERCHANDISE〔後編〕







# あとがき

おかげ様で 単行本も 三冊目です  
読者の皆様、そして編集部の方々、 本当にありがとうございました。

ところで この本の約半分を  
占めている エステシア王女様  
ですが、まさか この姫様を  
こんなに何回も 描く事にな  
るとは……………

さすがに これだけ 描いていると  
かなり愛着も 湧いてきましたか、  
この姫様を見ていると  
自分の描く女の子の顔が  
どんな風に 変化して  
いったのかが よくわかるので、  
おもしろいやら  
恥ずかしいやら…………… です。

これからも さらに  
がんばっていきますので  
どうか 見捨てないで  
下さいね。

それでは またいつか……

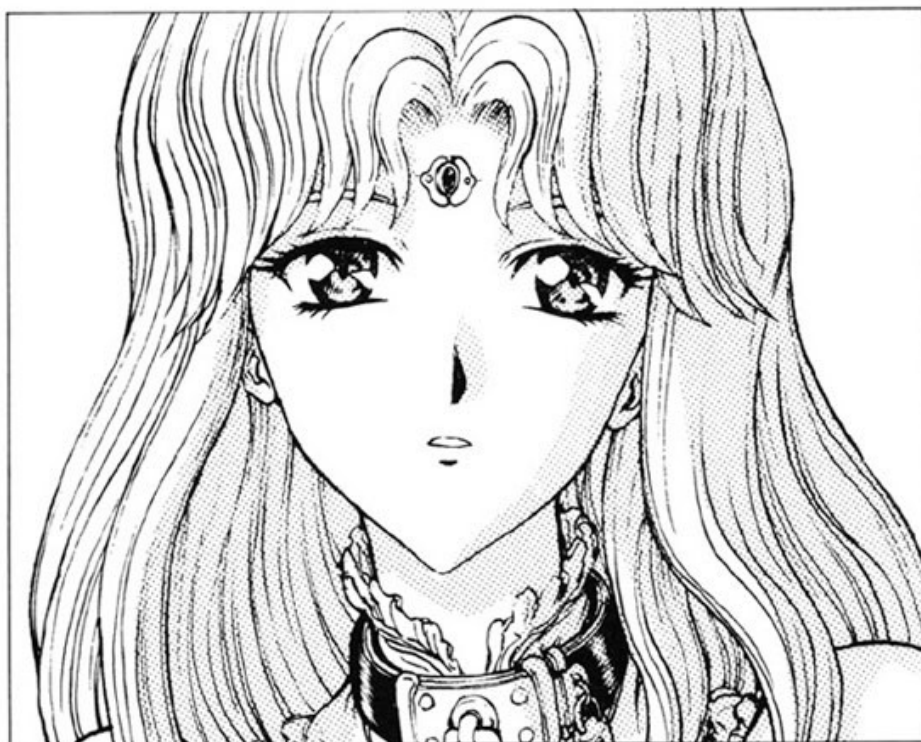
向 正義、 1999, OCTOBER,



▲ 初登場 時の  
服ですが  
やっぱり今描くと  
全然 違い  
ますね……

フランス書院

**X**COMICS



いん らく ゆう ぎ  
**淫 落 遊 戯**

---

著 者 向 正義 (むかい・まさよし)

発行所 株式会社フランス書院  
東京都千代田区飯田橋3-3-1

電 話 03-5226-5744(営業)  
03-5226-5741(編集)

振 替 00160-5-93873

<http://www.france.jp>

---

© Masayoshi Mukai Printed in Japan.

定価・発行日はカバーに表示してあります。  
落丁・乱丁は当社にてお取替えいたします。